プロセッサーアーキテクチャーとソフトウェア最適化

2011 年 8 月

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

目次

1. CPU の仕組みとアーキテクチャー
2. 代表的なCPUのアーキテクチャー

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

CPU の仕組み

CPU は OS によってメモリーに読み込まれたプログラムを逐次読み込んで実行します

（1）命令を読み込む（フェッチ）
（2）命令を解釈（デコード）
（3）命令を実行（エグゼキューション）
（4）結果の生成（ライトバック）

通常この命令の処理はパイプラインと呼ばれる流れ作業で行われる

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

パイプライン構造

```
add  eax, 1
sub  ecx, 1
mov mem, eax
mov mem, ecx
add  eax, ecx
```

	フェッチ	デコード	エグゼキューション	ライトバック	
実行開始 →	add				
	sub	add			
	mov	sub	add		
	mov	mov	sub	add	→ 結果生成
	add	mov	mov	sub	

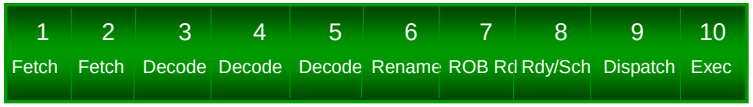
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

ハイパー・パイプライン・テクノロジー

後期のインテル Pentium 4 プロセッサーではパイプラインのステージ数が 31 に倍増
プロセッサーのパフォーマンスと周波数を大幅に向上 （設計上限 10GHz）

233MHz

P5 マイクロアーキテクチャー



1.4GHz

P6 マイクロアーキテクチャー

2GHz

Intel NetBurst® マイクロアーキテクチャー （Pentium ® 4）

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

パイプラインにおける分岐命令の影響

```
add  eax, 1
jz   ecx, label
mov mem, eax
mov mem, ecx
```

分岐命令はパイプラインの流れを変える

フェッチ	デコード	エグゼキューション	ライトバック
add			
jz	add		
mov	jz	add	
mov	mov	jz	add

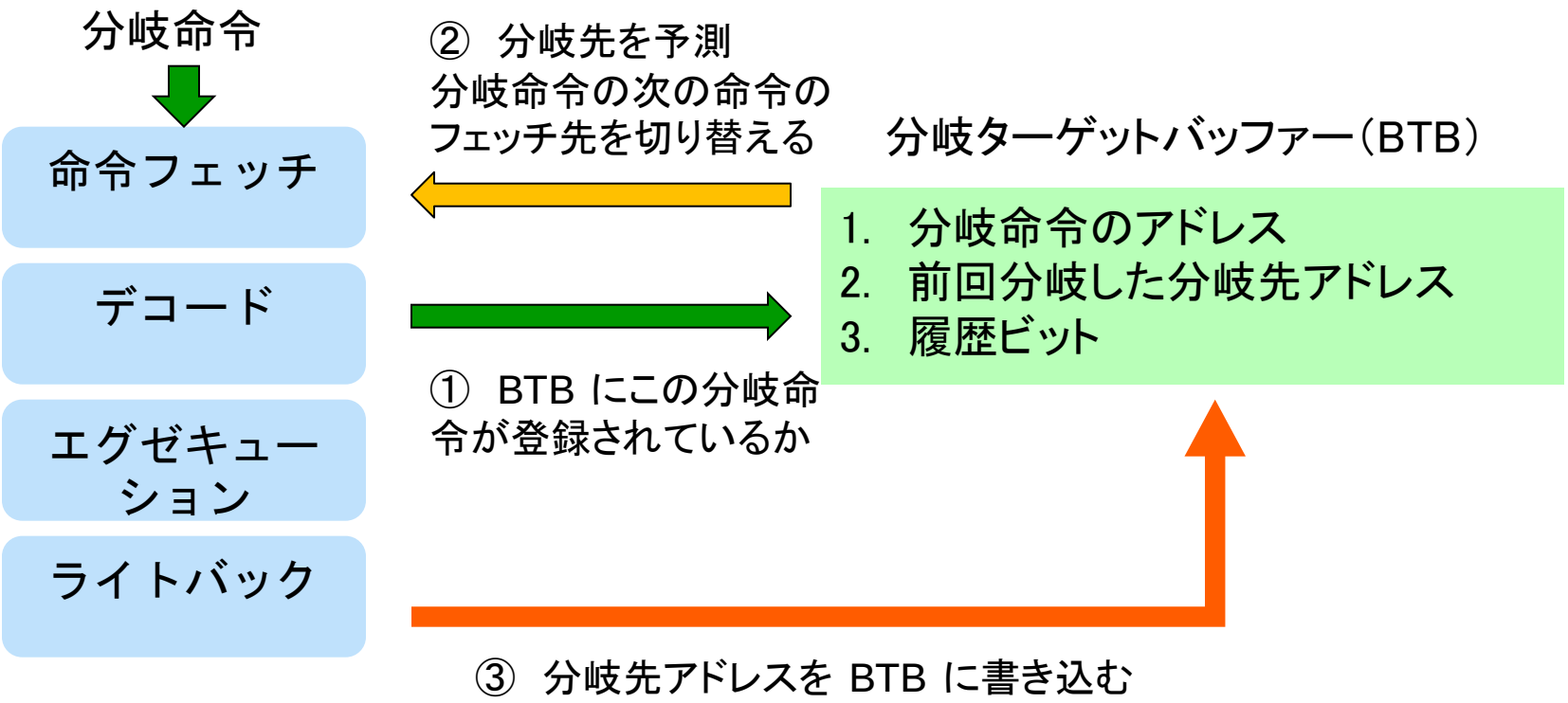
先行する条件分岐命令が分岐すると、
これらの命令は廃棄される

パイプラインの段数が深いほど、分岐先の命令が実行されるまで時間がかかる

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

分岐予測 － 動的分岐予測

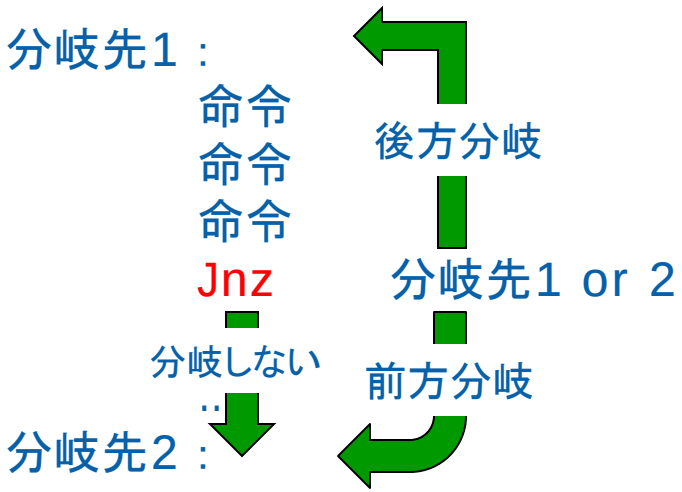
- 分岐予測には動的予測と静的予測の 2 種類がある



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

分岐予測 – 静的分岐予測

- 分岐予測には動的予測と静的予測の 2 種類がある



初めて実行される条件分岐や予測ミスした条件分岐命令ではパイプラインがフラッシュされます。
そのため CPU は静的に分岐を予測する機能を備えています。

静的分岐予測は:
①後方分岐は分岐すると予測
②前方分岐は分岐しないと予測

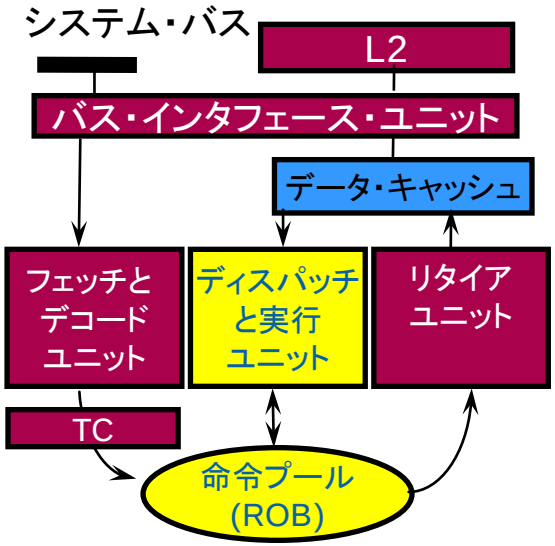
性能チューニングの過程でアプリケーションで分岐予測ミスがどのくらい発生しているか分析する必要がある

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

アウト・オブ・オーダー実行エンジン

- 命令バッファーから命令を検索
- 1 サイクルあたり最大 6 つの μop を実行（Pentium 4 の場合）
- プログラムの順序に関係なく、データの準備ができた μop から実行（アウト・オブ・オーダー）

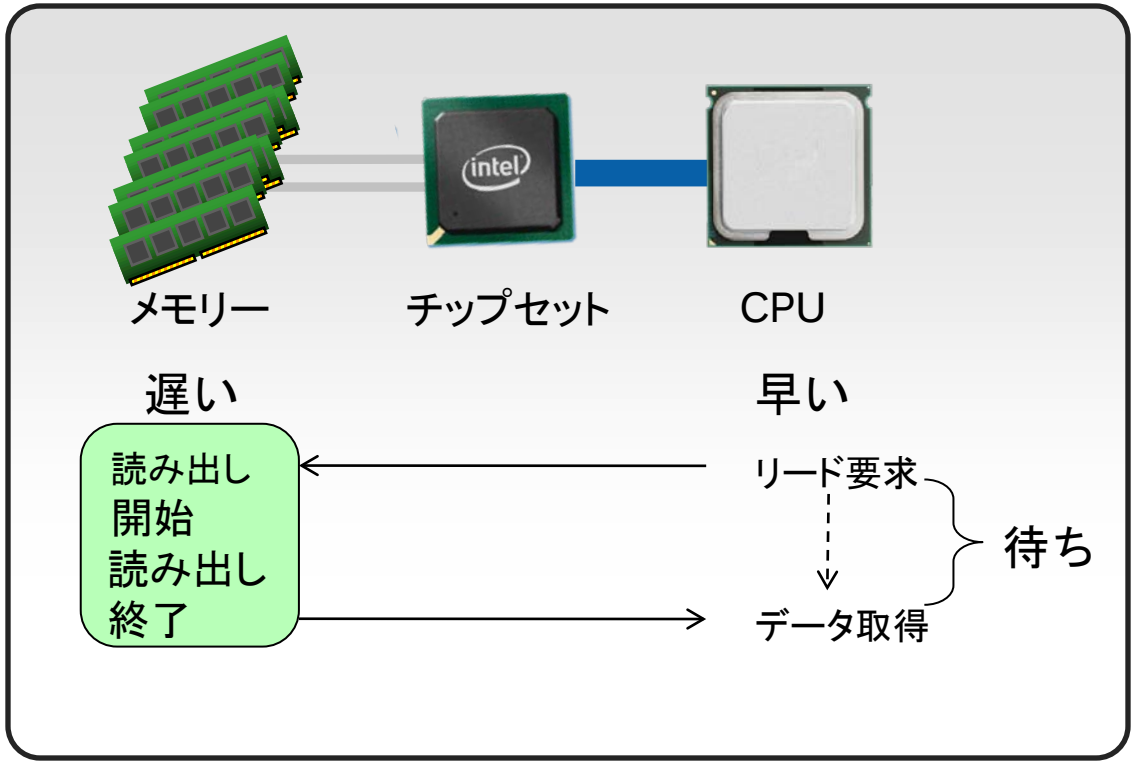
```
a = c - d;
b = c + d;
x = a + b;
```



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュ

高速化する CPU に対しメモリーの動作速度は追い付かない



x86 CPU では 386 が外付けキャッシュをオプションで提供
486 で初めて CPU 内部にキャッシュを搭載

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

プロセッサーのキャッシュ構成

P4

レベル/モデル	容量	連想方式	ラインサイズ	アクセス遅延(Int/Fp)	書き込み更新方式
L1(0, 1, 2)	8KB	4	64	2/9	ライトスルー
L1(3)	16KB	8	64	4/12	ライトスルー
TC(全世代)	12Kops	8	N/A	N/A	N/A
L2(0,1,2)	256KB/512KB	8	64	7/7	ライトバック
L2(3,4)	1MB	8	64	18/18	ライトバック
L2(3,4,6)	2MB	8	64	20/20	ライトバック
L3(0,1,2)	512KB/1MB/2MB	8	64	14/14	ライトバック

PM

レベル/モデル	容量	連想方式	ラインサイズ	アクセス遅延	書き込み更新方式
L1D	32KB	8	64	3	ライトバック
L1I	32KB	8	N/A	N/A	N/A
L2(9/13/14)	1M/2M/4M	8	64	9/10/14	ライトバック

Core

レベル/モデル	容量	連想方式	ラインサイズ	アクセス遅延	書き込み更新方式
L1D	32KB	8	64	3	ライトバック
L1I	32KB	8	N/A	N/A	N/A
L2(共有L2)	2MB/4MB/6M/12M	8/12/24	64	14	ライトバック

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

プロセッサーのキャッシュ構成(2)

Nehalem

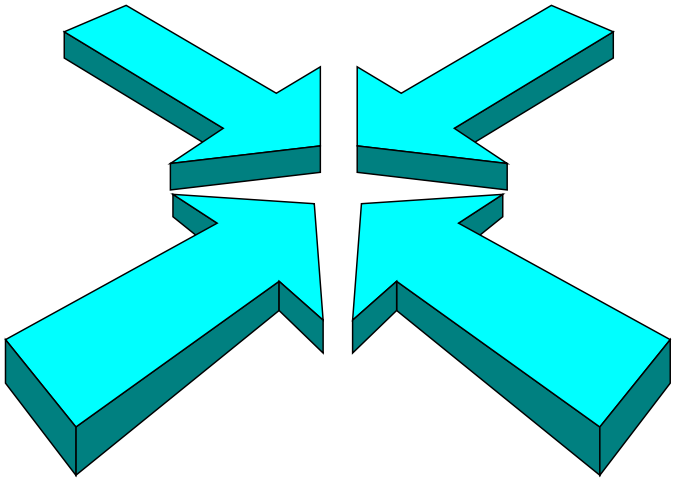
レベル/モデル	容量	連想方式	ラインサイズ	アクセス遅延	書き込み更新方式
L1D	32KB	8	64	4	ライトバック
L1I	32KB	4	N/A	N/A	N/A
L2	256KB	8	64	10	ライトバック
L3（共有）	3M/4M/6M/8M	キャッシュサイズで変わる	64	35-40	ライトバック

Sandy Bridge

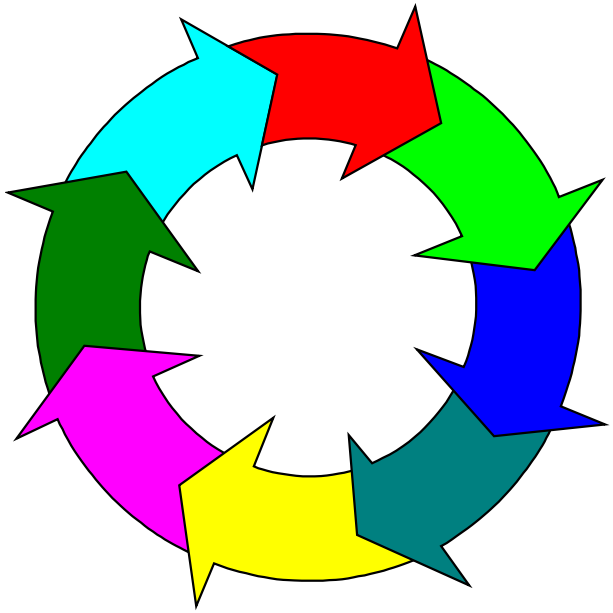
レベル/モデル	容量	連想方式	ラインサイズ	アクセス遅延	書き込み更新方式
L1D	32KB	8	64	4	ライトバック
L1I	32KB	8	N/A	N/A	N/A
L2	256KB	8	64	12	ライトバック
L3（共有）	3M/6M/8M	キャッシュサイズで変わる	64	26-31	ライトバック

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

空間の局所性と時間の局所性



アクセスされたデータに隣接するデータは近い将来参照される可能性が高い



アクセスされたデータは近い将来再びアクセスされる可能性が高い

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュの種類

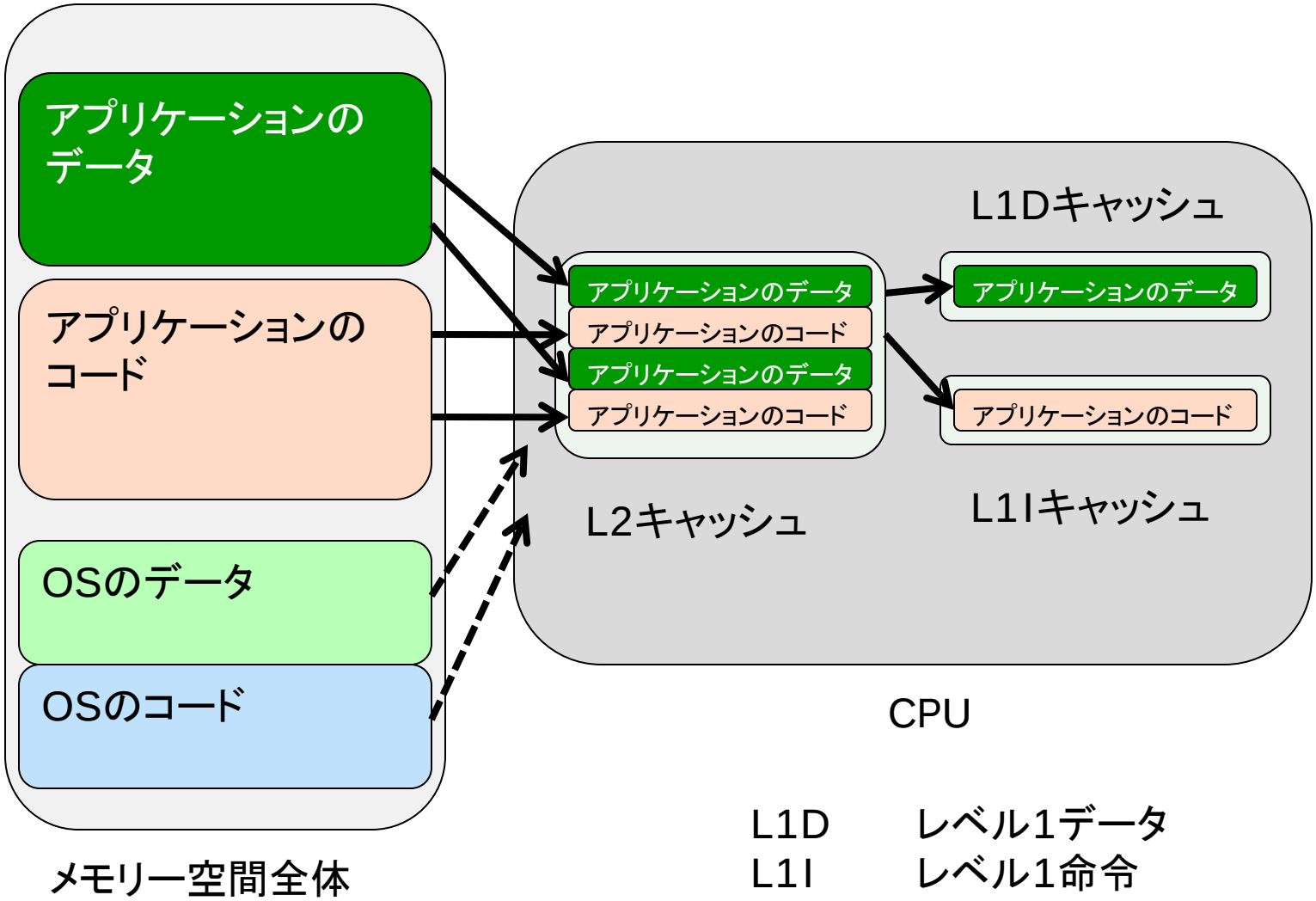
- 命令キャッシュ:　一度実行した命令を格納します。アプリケーションにおいてパフォーマンスが要求されるコードのほとんどはループおよびループ内の関数呼び出しで構成されており、それらをキャッシュから高速に読み込むことで命令フェッチのボトルネックを解消します。L1命令キャッシュ。L1Iキャッシュ。

- データキャッシュ:プログラムが読み書きしたデータを含むキャッシュラインを保持します。以降隣接するデータはキャッシュに読み込まれているため高速にアクセスすることができます。キャッシュにないデータはメモリーの読み出しを行います。L1データキャッシュ。L1Dキャッシュ。

- ユニファイドキャッシュ:命令とデータをキャッシュライン単位で混在して保持します。通常はL1キャッシュ以降のL2やL3キャッシュに用いられます。

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

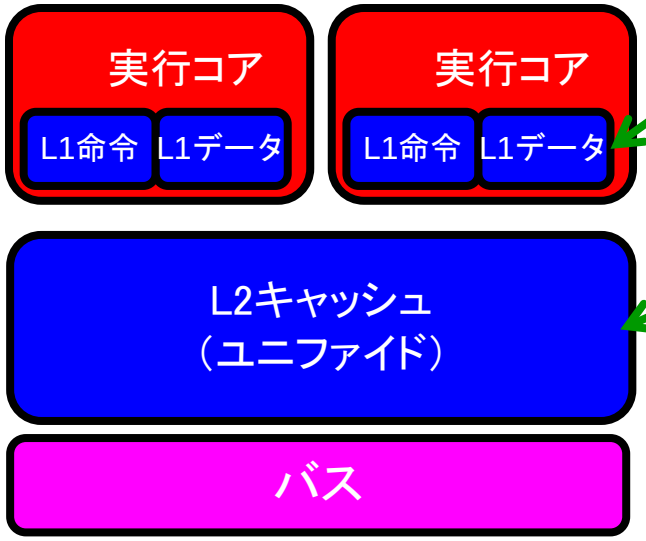
キャッシュの種類



L1D　　レベル1データ
L1I　　レベル1命令

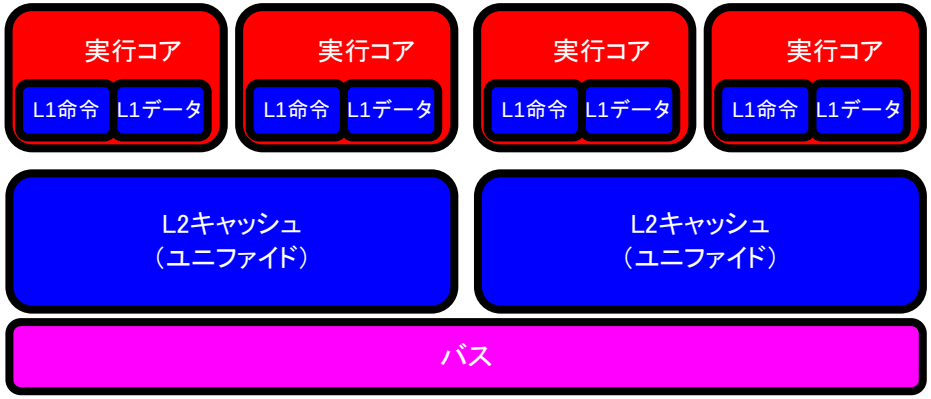
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュの階層



コアに近い高速なキャッシュ
容量は小さい

メモリーに近い低速なキャッシュ
容量は大きい



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュの利用効率

L1 キャッシュでのアクセスミスは数十クロックのペナルティーが生じる

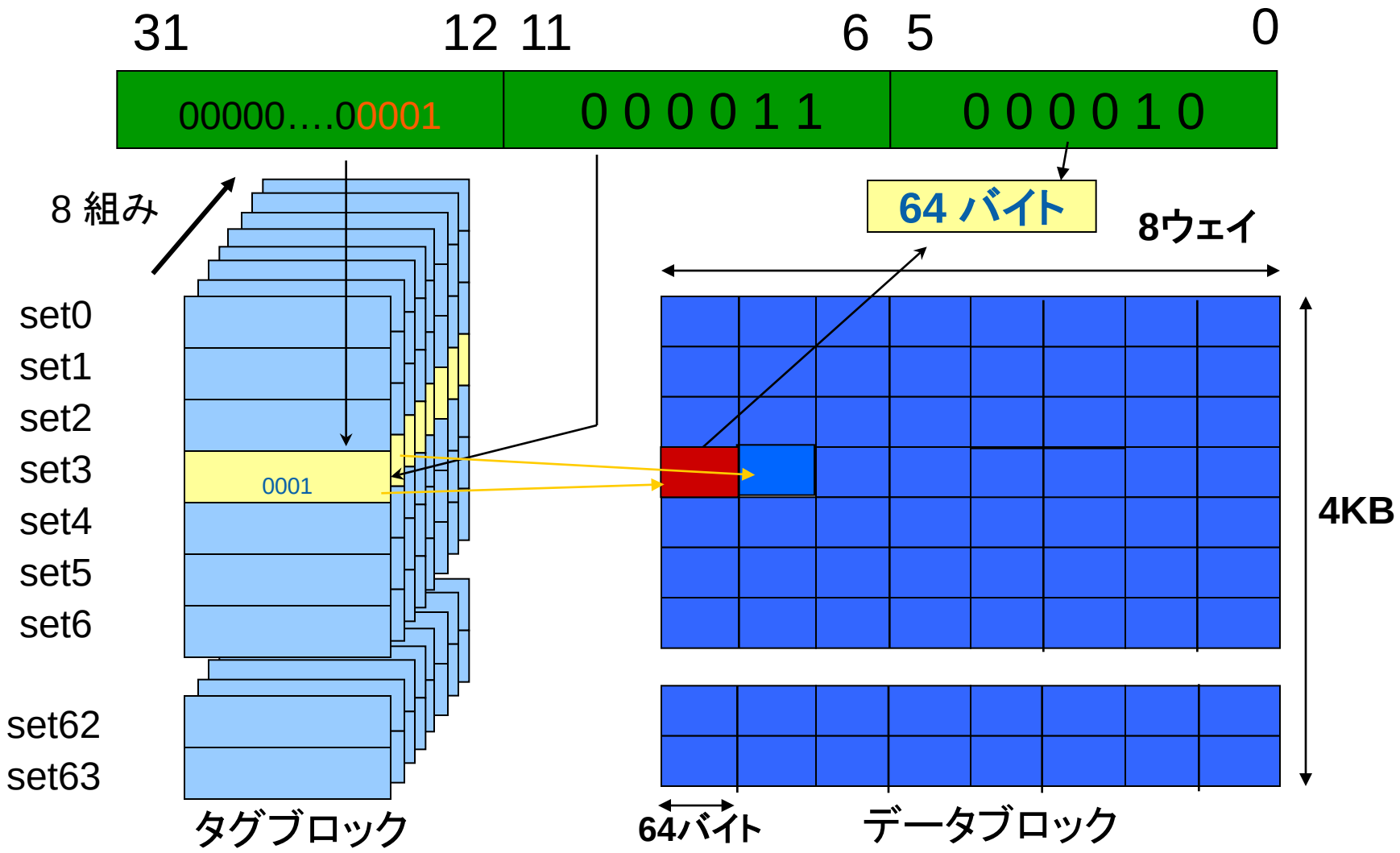
L2 キャッシュでのアクセスミスは数十バスクロックのペナルティーが生じる

キャッシュを有効利用するにはデータやコードの位置関係が重要となる

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

セット・アソシアティブ・キャッシュ

キャッシュは N ウエイで構成される: 8 ウエイの 32KB キャッシュの例



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

セット・アソシアティブ・キャッシュとプログラムの関係

```
int array1[1024], array2[1024], array3[1024], array4[1024],
array5[1024], array6[1024], array7[1024], array8[1024],
array9[1024];
```

// 整数 4 バイトの1024個の要素の配列、つまり 1 つに配列は 4K バイト

```
for(i = 0; i < 1024; i++){
    array1[i] = i    // 0x128f20:b000100101000 111100 100000
    array2[i] = i    // 0x12af20:b000100101010 111100 100000
    array3[i] = i    // 0x12cf20:b000100101100 111100 100000
    …
    array8[i] = i
    array9[i] = i
}
```


© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュの利用効率

- コードの書き方で変わるキャッシュの利用効率

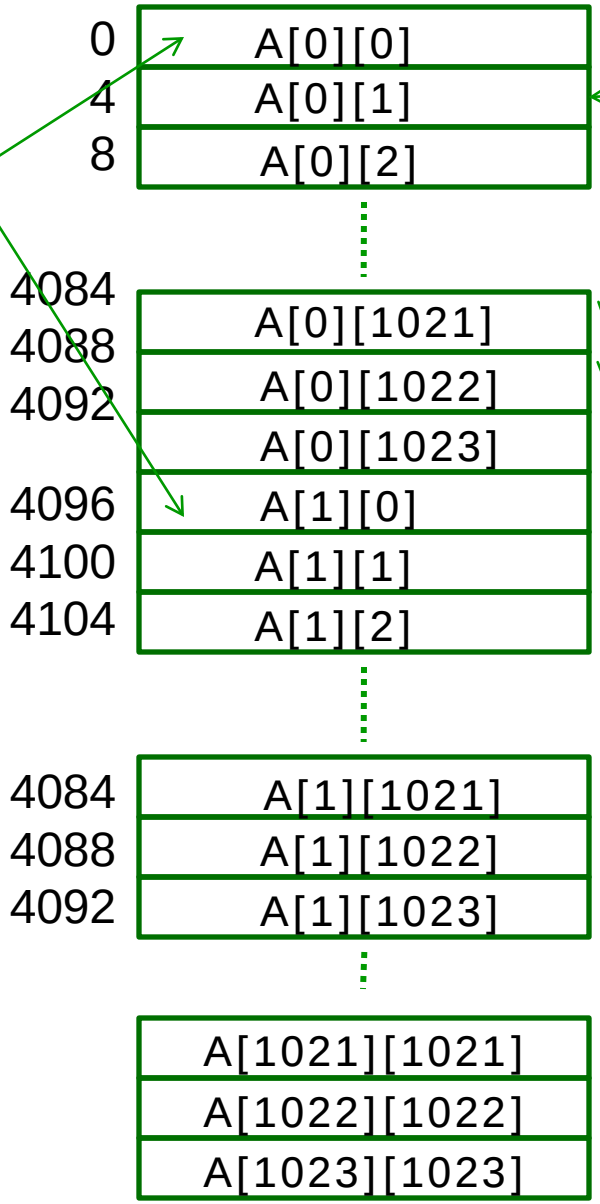
```
for (j=0; j<N; j++)
        for (i=0; i<N; i++)
                A[j][i] += B[j][i] * C[j][i];
```

```
for (i=0; i<N; i++)
        for (j=0; j<N; j++)
                A[j][i] += B[j][i] * C[j][i];
```


© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

```
for (i = 0; i < N; i++)
    A[i][j] =
```

A[0][0]
A[1][0]
A[2][0]
⋮
A[1021][0]
A[1022][0]
A[1023][0]




```
for (j = 0; j < N; j++)
    A[i][j] =
```

A[0][0]
A[0][1]
A[0][2]
⋮
A[0][1021]
A[0][1022]
A[0][1023]

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュに読み込まれるタイミング

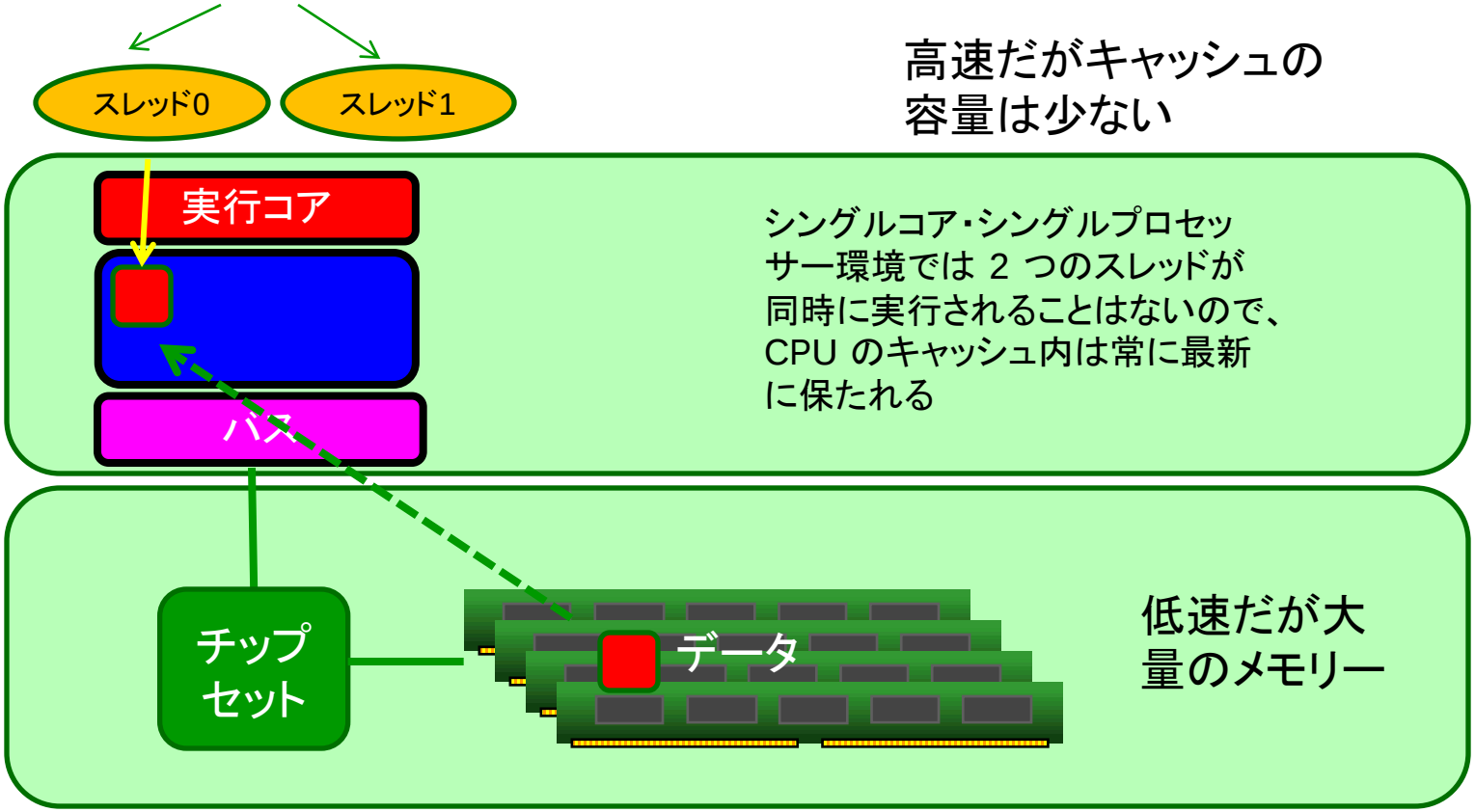
1. アプリケーションが参照したメモリーの内容がキャッシュにない場合
2. アプリケーションがメモリーに書き込みを行った内容がキャッシュにない場合
3. アプリケーションがプリフェッチ命令を実行した場合
4. ハードウェア・プリフェッチャーが動作した場合

読み込み書き出しの最小単位はキャッシュライン（64バイト）

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュの整合(コヒーレンシー): シングルコア

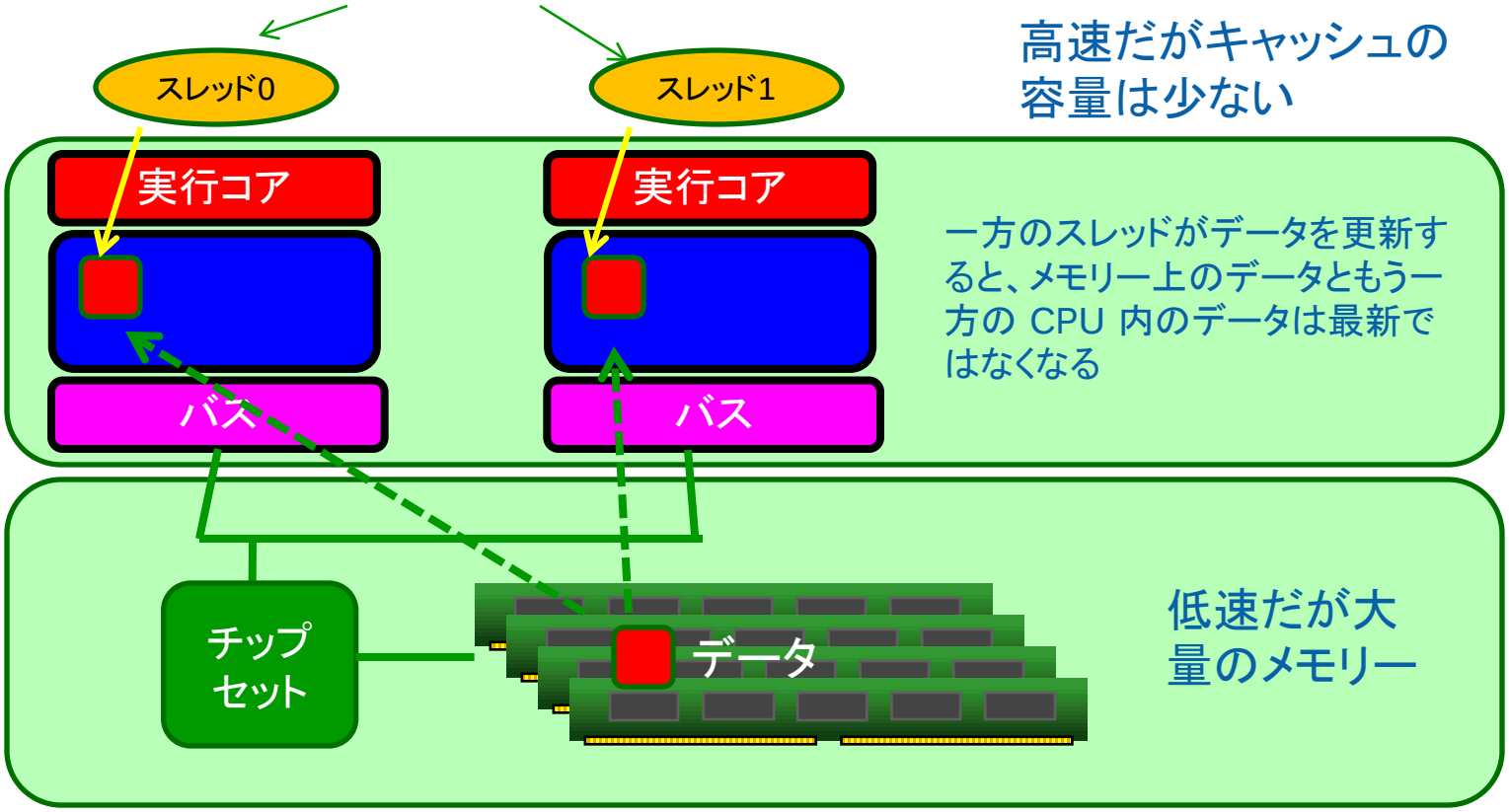
2 つのスレッドが同じデータにアクセスすると



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

キャッシュの整合(コヒーレンシー): マルチコア

2 つのスレッドが同じデータにアクセスすると



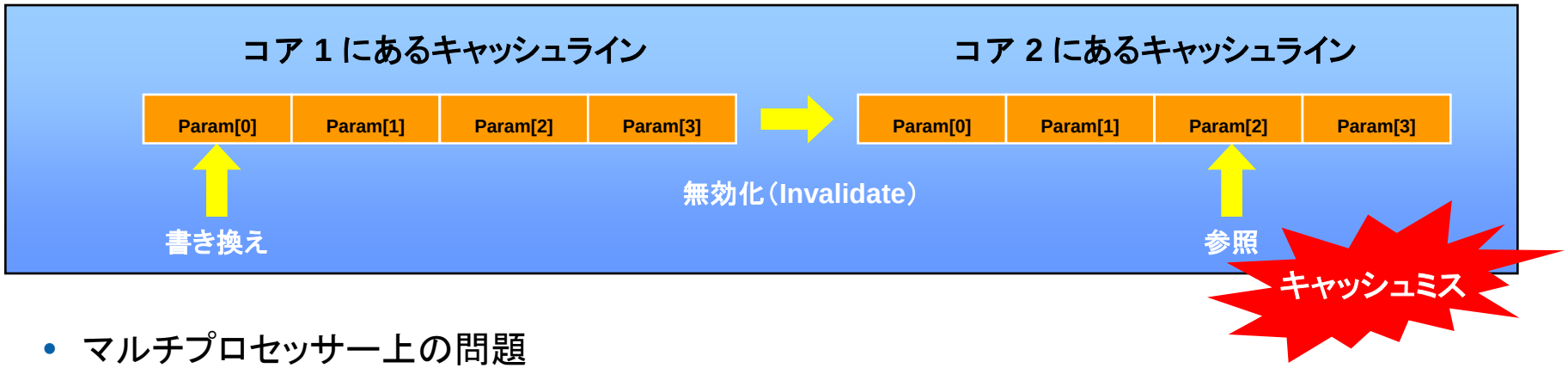
高速だがキャッシュの容量は少ない

一方のスレッドがデータを更新すると、メモリー上のデータともう一方の CPU 内のデータは最新ではなくなる

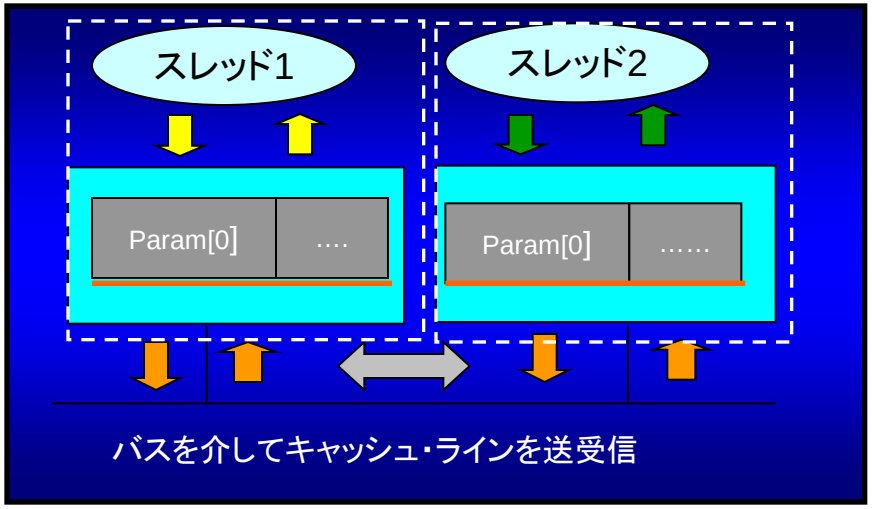
低速だが大量のメモリー

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

フォルス・シェアリングについて

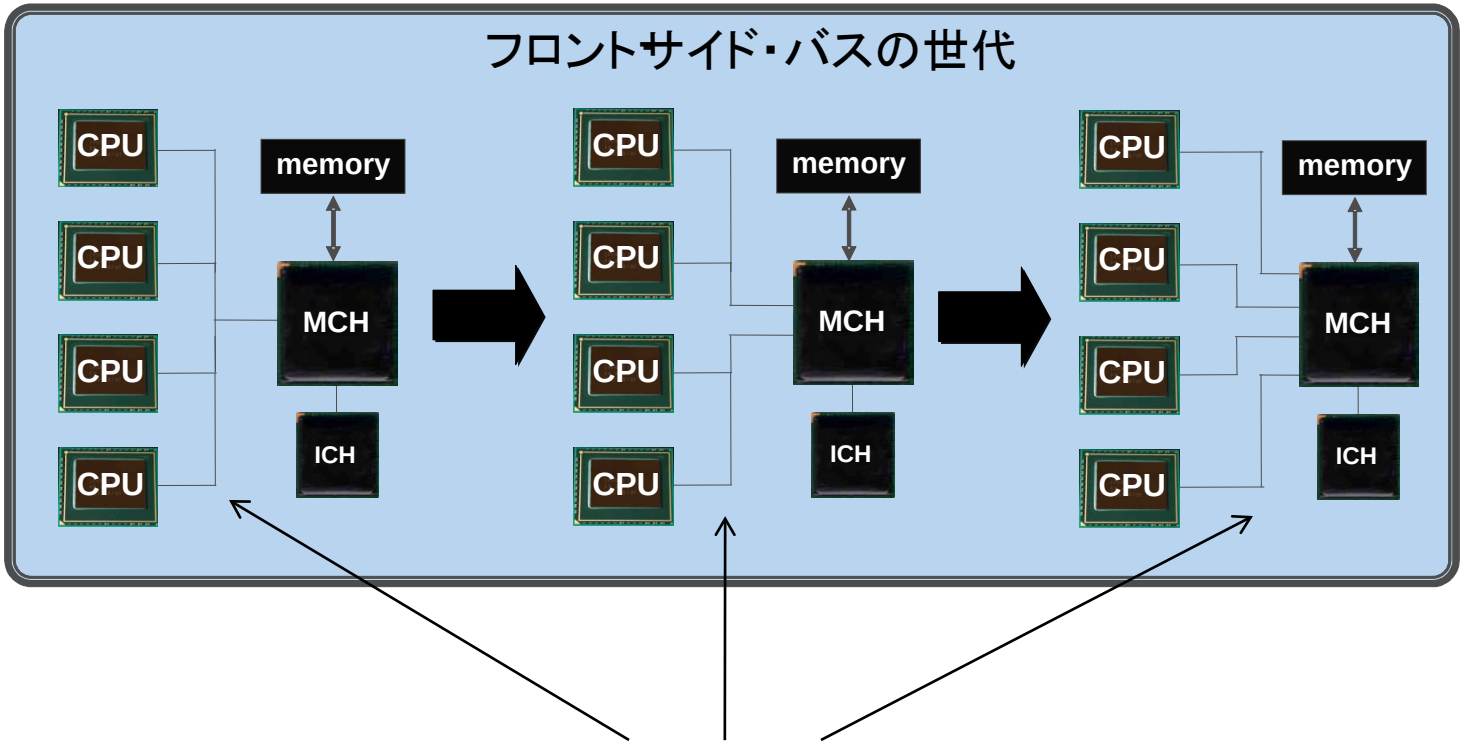


- マルチプロセッサー上の問題
  - クアッドコア、デュアルコア、ハイパースレッド上でも同様に問題
- 対策
  - VTune™ Amplifier XEのイベントを参照する
  - デュアルコア　ハイパースレッド上で数百倍のイベントが検出された場合は疑いが強い
  - 関数レベルで 6 – 7 倍、アプリケーションレベルで 2 倍のパフォーマンスの低下をもたらすことがある



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

フロントサイド・バスとメモリー帯域



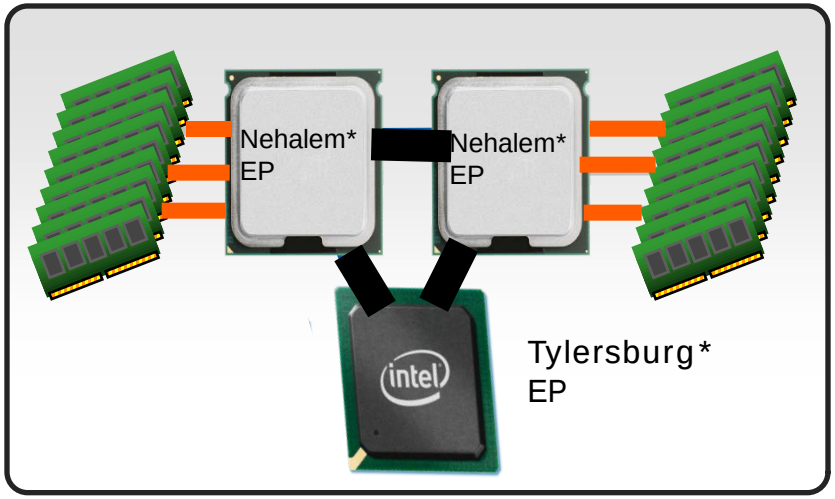
CPU とチップセット間を結ぶバスをフロントサイド・バス(FSB)と呼びます
全てのメモリーアクセスはFSBを経由します。

Core™2 Duo/Quad までのメモリー構成

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

Nehalem*-EP プラットフォーム・アーキテクチャー

- CPU がメモリーコントローラーを内蔵
  - ソケットあたり 3 チャンネル分の DDR3メモリをサポート
  - **メモリー帯域幅**の増大
  - プロセッサー数に応じたメモリー帯域幅のスケーリング
  - **メモリー・レイテンシーの削減**
- インテル® QuickPath インターコネクト (インテル® QPI)
  - ポイント・トゥー・ポイント接続
  - ソケット間の接続
  - ソケットとチップセットの接続
  - 拡張性の高いソリューションを提供



新しいプラットフォームによる大幅な性能向上

* 開発コード名

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

演習 1: フェルミの計算

```
float *loop(float *data1, float *data2) {
        float Pi = 3.14, *ans;
        ans = (float *) malloc(MAX * sizeof(float));
        for ( i = 1, i < MAX, i++) {
                ans[i] = data1[i] + Pi * data2[i]; }
        return ans;
}
```

計算: Big O 記法 縦軸に時間、横軸をnとした場合、データがすべてメモリ上で処理されるのであれば、リニアに右肩上がりとなる。

合計メモリー使用率 MAX＊float（4バイト）＊3つのデータ配列。

ストア vs. ロード vs. 浮動小数点演算 x ストア＋x ロード＋x 演算

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

演習 2: フェルミの計算

MAX＝4000000 として想定する

では、インテル® Xeon® プロセッサー（FSB 800MHz 3GHz）でシングルスレッドが計算を完了するための予想時間は?

800MHz 6.4Gbyte/s
ストアvsロードvsFP演算：1ストア＋3ロード＋２演算

4,000,000 * 4 byte * 4 load/store = 64,000,000 (64MB)
0.064 GB / 6.4GB (800MHz system Bus) = 0.01 秒
（FSB1024MHzでは8.5GB、1333MHzでは10.6GB）

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

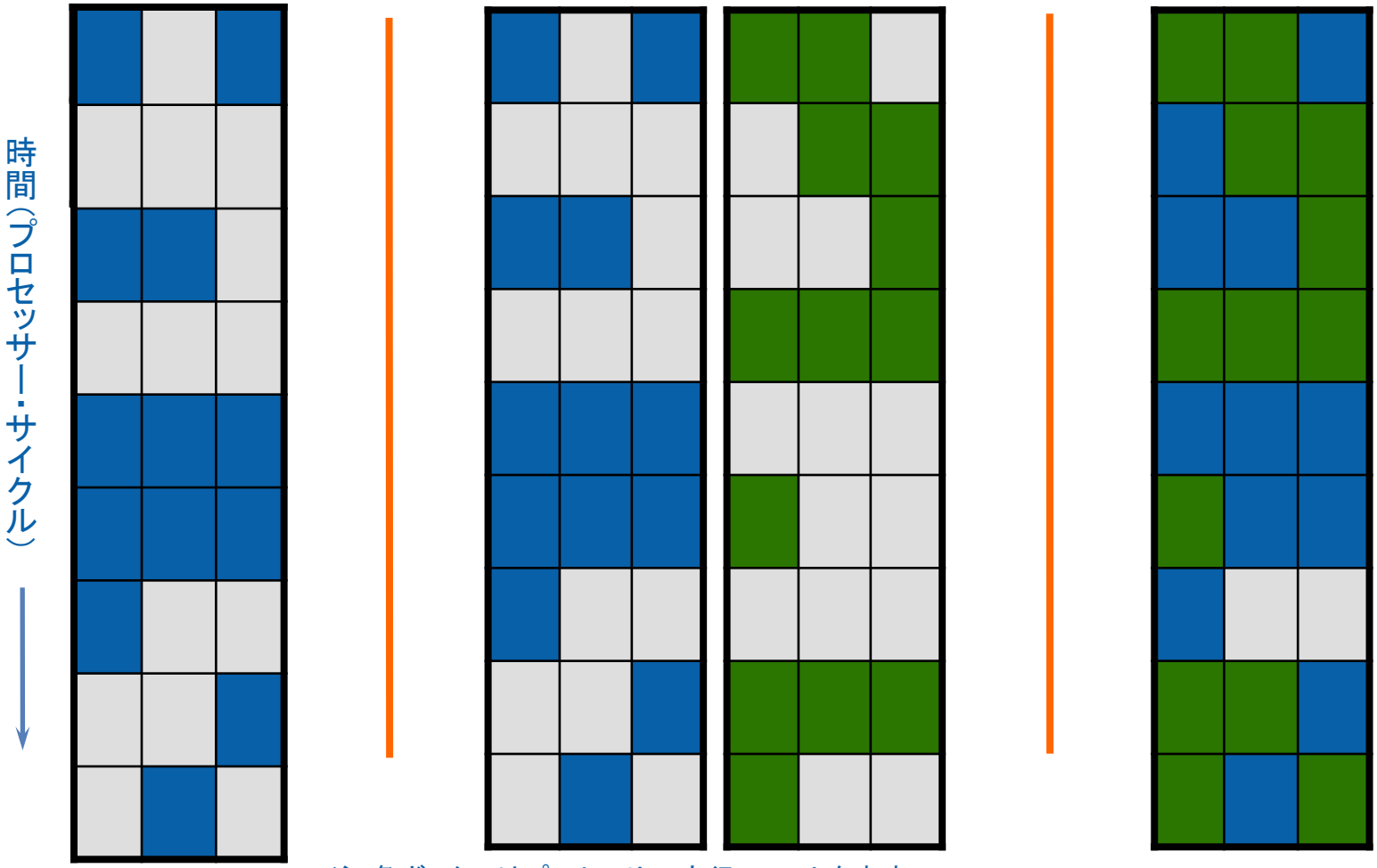
ハイパー・スレッディング・テクノロジーとは?

- 2 つの論理プロセッサーでコアのプロセッサー・リソースを共有する
- 物理実行ユニットの使用率を高める
- マルチスレッド・アプリケーションのパフォーマンスを向上させる

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

実行モデル
ハイパー・スレッディング・テクノロジのリソース使用率

スーパースケーラー　　マルチプロセッシング　　ハイパー・スレッディング・テクノロジー



注: 各ボックスはプロセッサの実行ユニットを表す

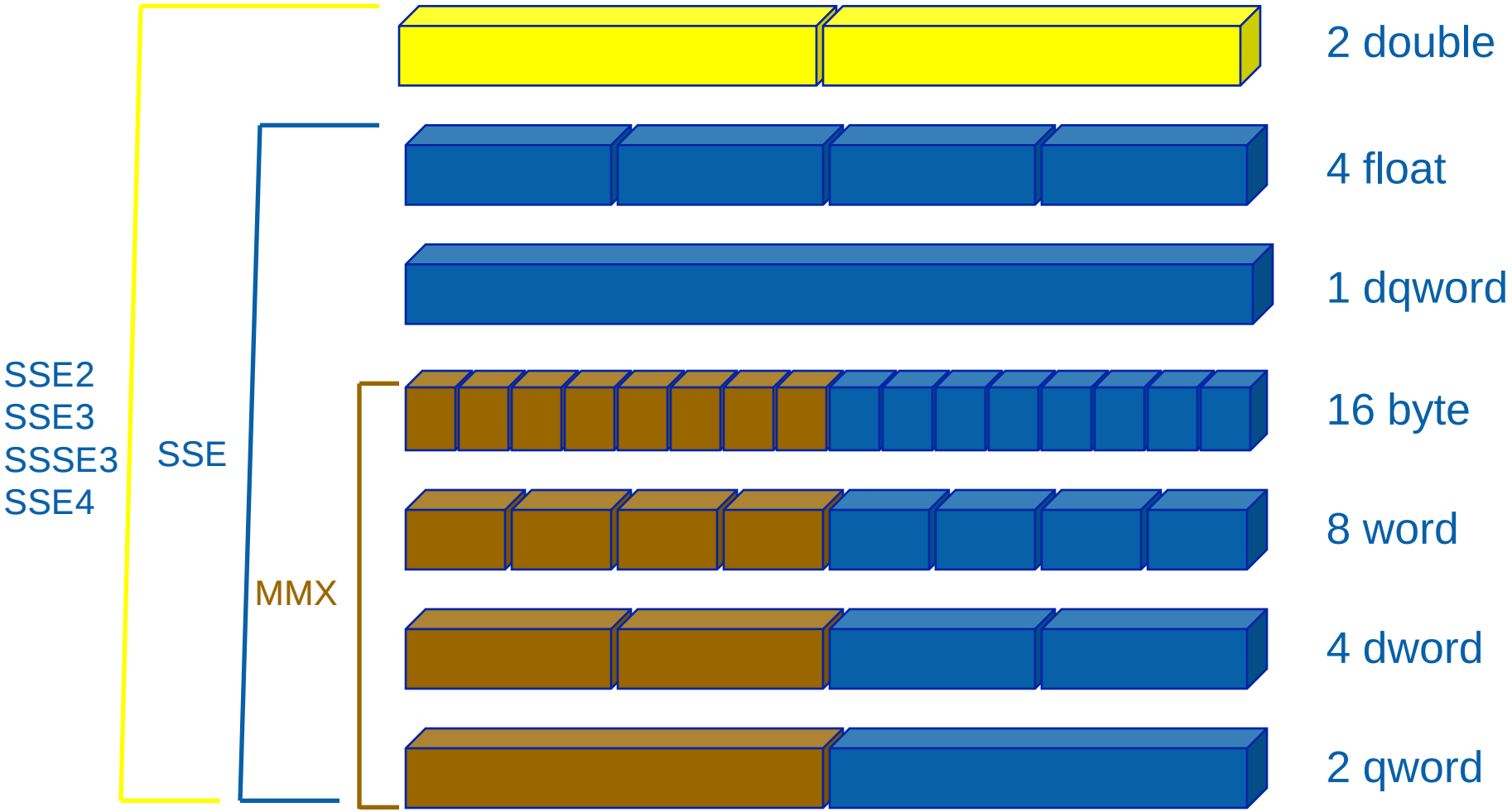
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

SIMD の歴史(一部)

- MMX® Technology – MMX® Technology インテル® Pentium® プロセッサと Pentium® II プロセッサ
  - SIMD 整数演算用に 64 ビットの MMX® レジスタを採用
  - パックドバイト、ワード、およびダブルワード整数での SIMD 演算をサポート
  - マルチメディアおよび通信ソフトウェアに最適
- SSE – インテル® Pentium® III プロセッサ
  - SIMD 整数と FP-SP オペランド用に 128 ビット拡張メモリ・マネージャ(XMM) レジスタを実装
  - 浮動小数点演算と SIMD 演算を同時に実行
  - データ・プリフェッチ命令を採用
  - 3D 幾何学、3D レンダリング、ビデオ・エンコーディング/デコーディングに最適
- SSE2 – インテル® Pentium® 4 プロセッサおよびインテル® Xeon™ プロセッサ
  - 拡張 64 ビット SIMD 整数をサポート
  - SIMD 整数演算と浮動小数点倍精度演算(FP-DP) 用に同じ XMM レジスタを実装
  - データサポート用に 144 個の新しい命令を追加(レジスタの追加はなし)
  - キャッシュ処理とメモリ順序演算のサポートを追加
  - 3D グラフィック、ビデオ・エンコーディング/デコーディング、暗号化に最適
- SSE3 – インテル® Pentium® 4 プロセッサ
  - ストリーミング SIMD 拡張命令テクノロジ、ストリーミング SIMD 拡張命令 2 テクノロジ、および X87 浮動小数点演算のパフォーマンスを向上
  - 特殊な 3D 演算(四元数)、複素数演算やビデオ・コーデック・アルゴリズムに最適

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

MMX と SSE 命令のデータタイプ



•MMX は x87 浮動小数点レジスターを使用する
•SSE、SSE2、SSE3 、SSSE3 および SSE4 は新しい SSE レジスターを使用する

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

ADD/SUBPD
パックド倍精度浮動小数点の加算 / 減算

ADD/SUBPD xmm1, xmm2/m128

[127 – 64]	[63 – 0]	xmm1
[127 – 64]	[63 – 0]	xmm2

xmm1[127-64] + xmm2[127-64]	xmm1[63-0] – xmm2[63-0]	xmm1

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。
Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation 社または
その子会社の商標または登録商標です。

ADD/SUBPS
パックド単精度浮動小数点の加算 / 減算

ADD/SUBPS xmm1, xmm2/m128

[127 – 96]	[95 – 64]	[63 – 32]	[31 – 0]	xmm1
[127 – 96]	[95 – 64]	[63 – 32]	[31 – 0]	xmm2

---

xmm1[127-96] + xmm2[127-96]	xmm1[95-64] - xmm2[95-64]	xmm1[63-32] + xmm2[63-32]	xmm1[31-0] - xmm2[31-0]	xmm1

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® 64

- 64 ビットアドレス拡張
  - 64 ビット動作モードには 2 つのサブモードがある
    - 64 ビットモード
      - **64 ビットのリニアアドレス**
      - **既存の汎用レジスタを 64 ビットに拡張**
      - **拡張 / 追加された命令セット**
      - **OS によってコード・セグメントごとにイネーブルにされる**
      - **デフォルトのアドレスサイズは 64 ビット**
      - **デフォルトのデータサイズは 32 ビット**
    - 互換モード
      - **64 ビット・オペレーティング・システムで 32 ビット・アプリケーションを実行**
      - **アプリケーションを再コンパイルする必要なし**
      - **OS はカーネルの呼び出し境界にサンクレイヤを提供**

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® 64 ― レジスター

63 32 31 0

RAX	EAX
RBX	EBX
RCX	ECX
RDX	EDX
RBP	EBP
RSI	ESI
RDI	EDI
RSP	ESP

R8
R9
R10
R11
R12
R13
R14
R15

127 64 63 0

XMM0
XMM1
XMM2
XMM3
XMM4
XMM5
XMM6
XMM7
XMM8
XMM9
XMM10
XMM11
XMM12
XMM13
XMM14
XMM15

RIP	EIP

79 0

X87/MMX

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

このプログラムの問題は？

```
void *aptr;
int tempvar;
aptr = malloc(sizeof(void *));
tempvar = (int) aptr;
```

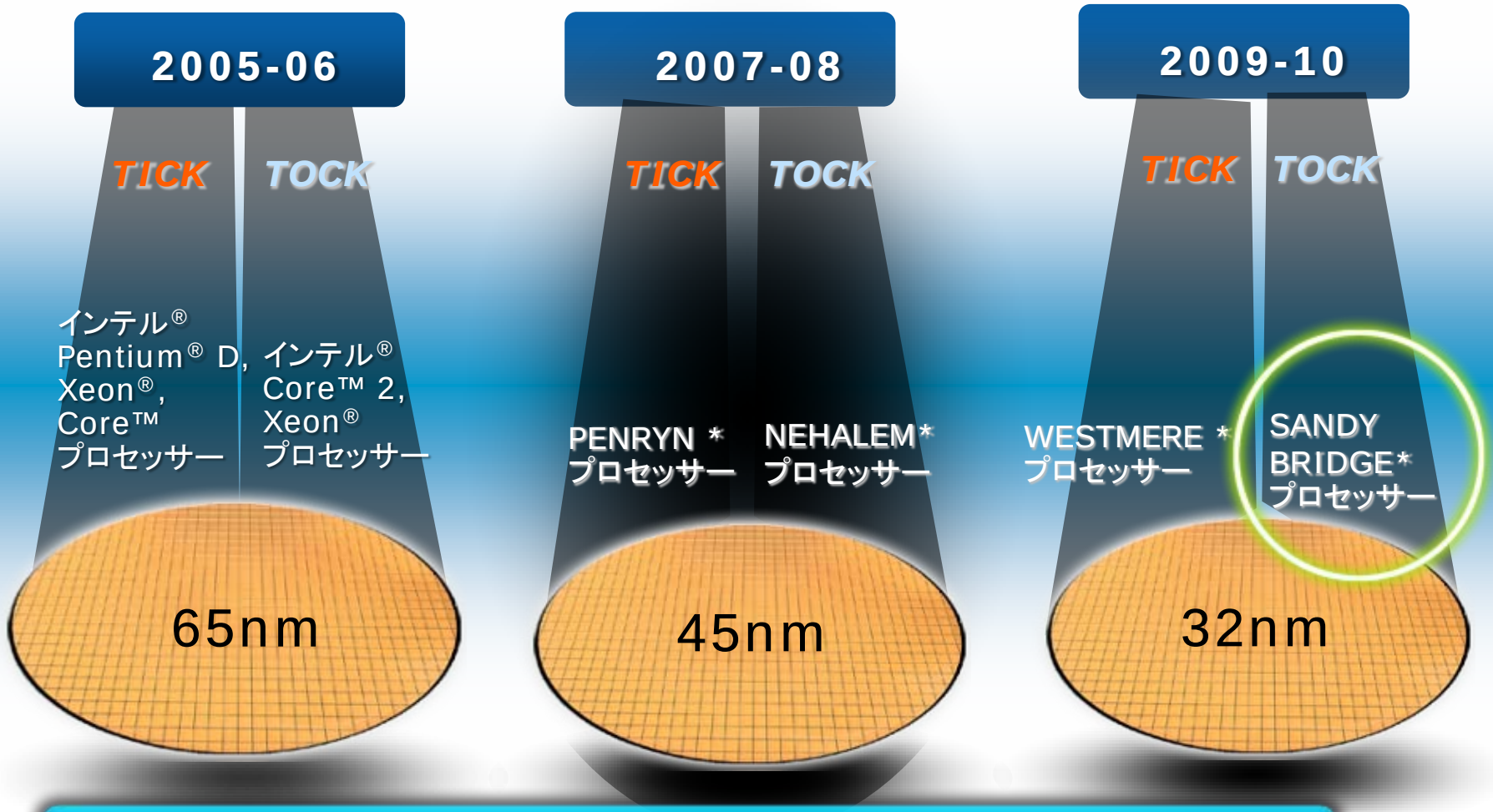

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

目次

1. CPU の仕組みとアーキテクチャー
2. 代表的なCPUのアーキテクチャー

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテルの Tick Tock 開発モデル

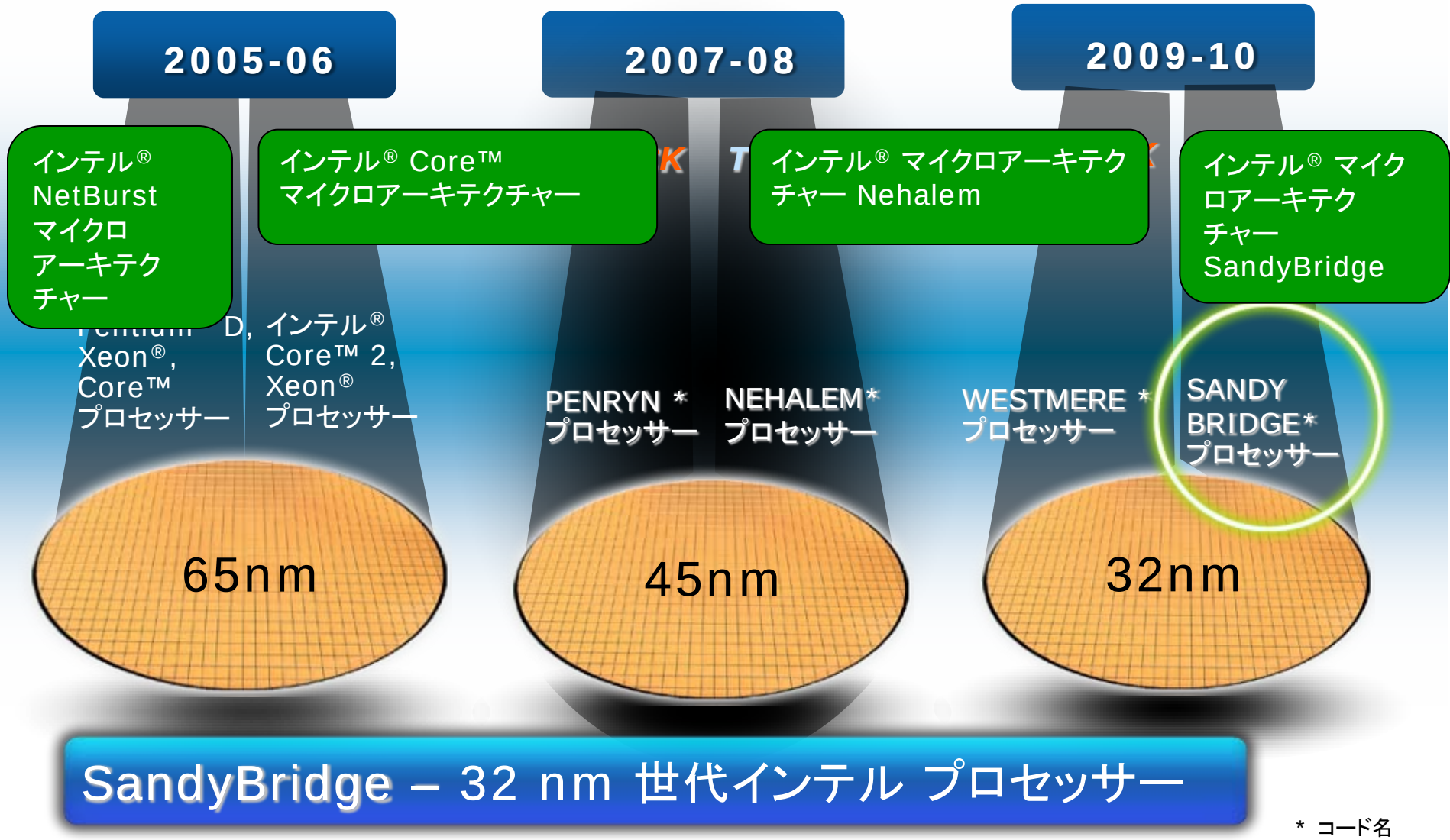


SandyBridge – 32 nm 世代インテル プロセッサー

* コード名

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテルの Tick Tock 開発モデル



* コード名

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® NetBurst プロセッサー・ファミリー

SSE2

インテル® Pentium® 4 プロセッサー

HT テクノロジー

SSE3

HT テクノロジー
インテル® Pentium® 4 プロセッサー

インテル® 64

HT テクノロジー
インテル® Pentium® 4 プロセッサー

HT テクノロジー
インテル® Pentium® 4 プロセッサー
エクストリーム・エディション

64 ビット インテル® Xeon® プロセッサー

デュアルコア

インテル® Pentium® プロセッサー
エクストリーム・エディション
64 ビット インテル® Xeon® プロセッサー

インテル® Pentium® D プロセッサー

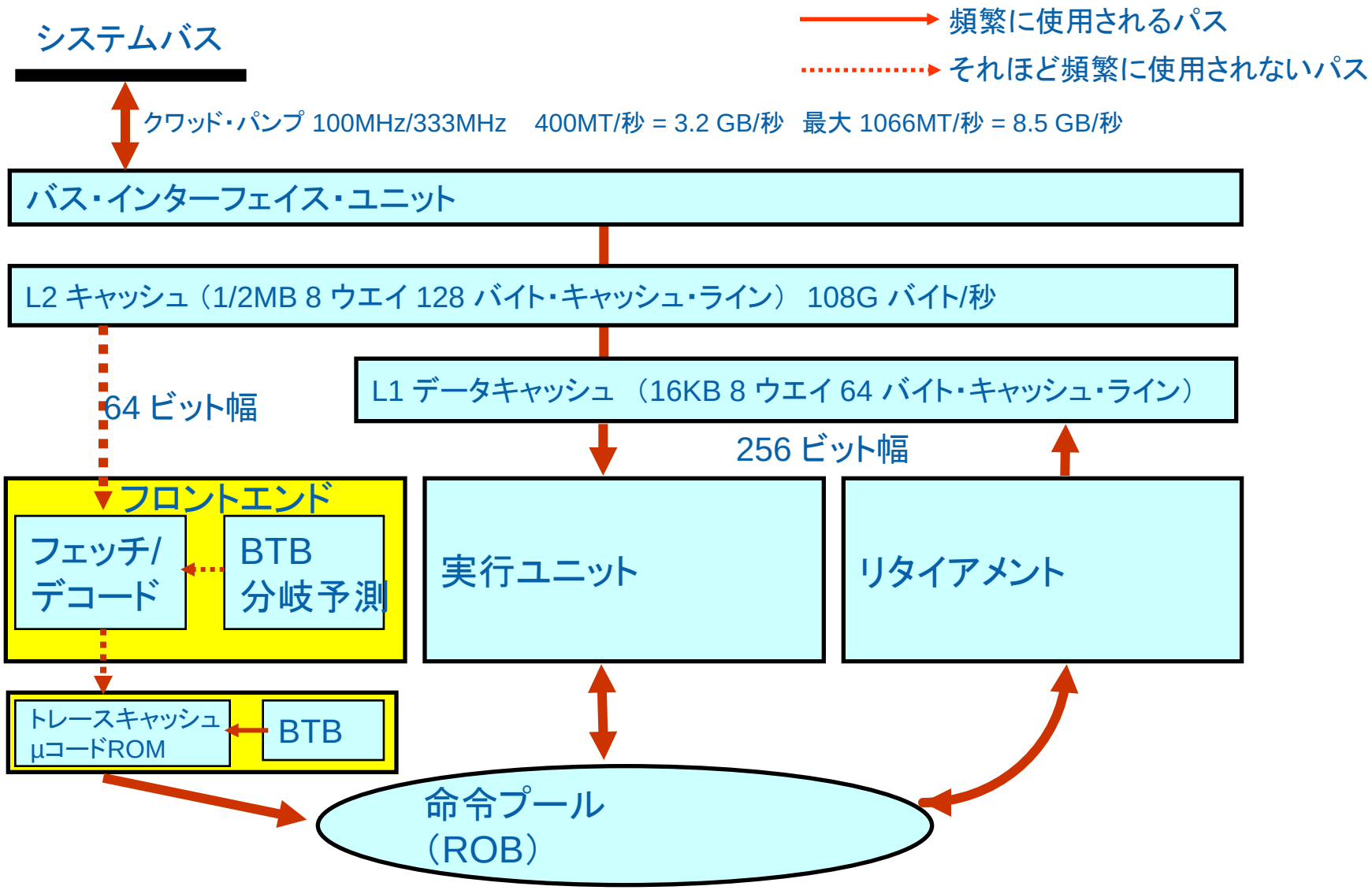
HT テクノロジー
インテル® Pentium® 4 プロセッサー

HT テクノロジー
インテル® Pentium® 4 プロセッサー
エクストリーム・エディション

インテル® Xeon® プロセッサー

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル NetBurst マイクロアーキテクチャー

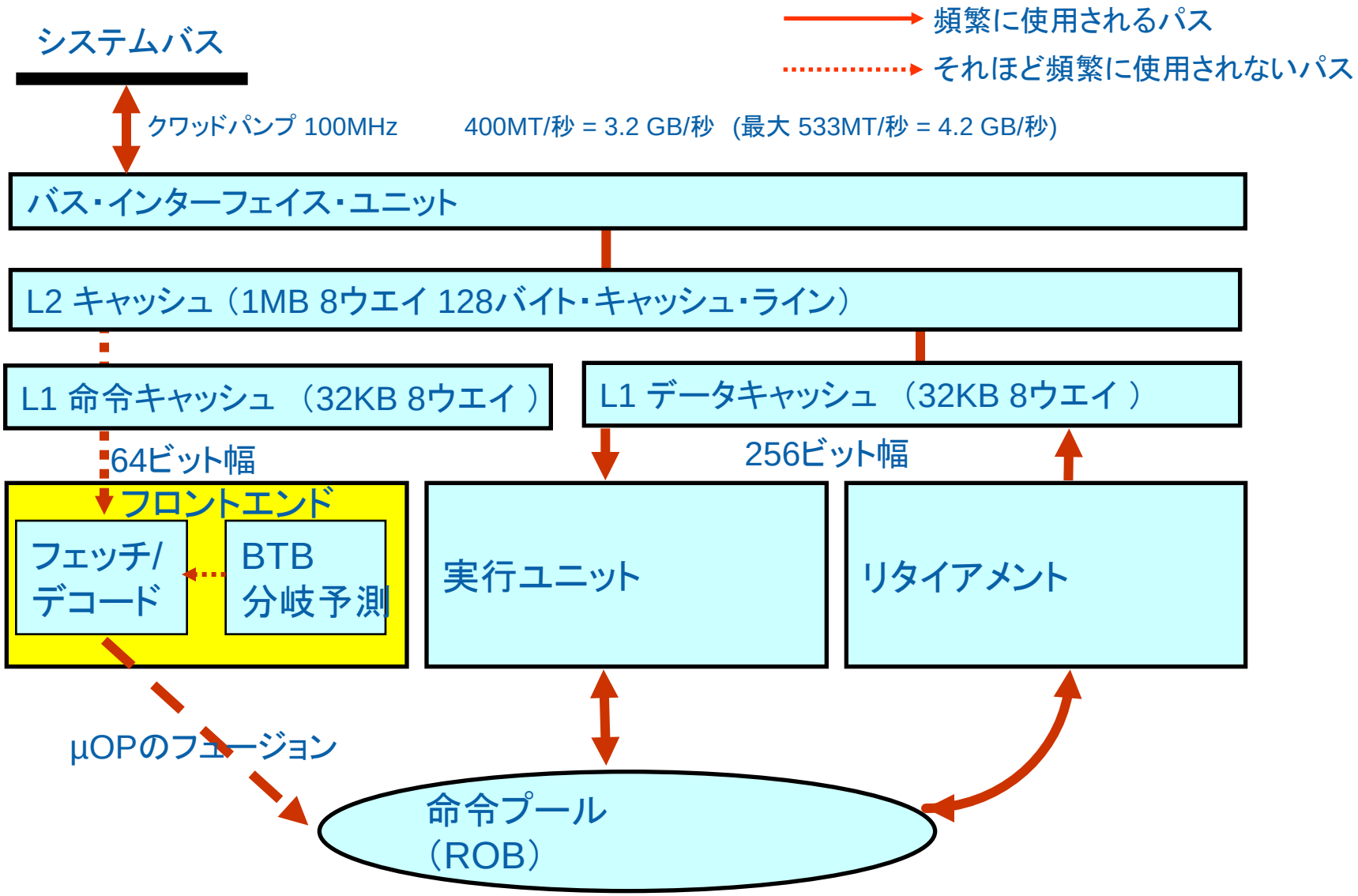


© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® モバイル プロセッサー・ファミリー

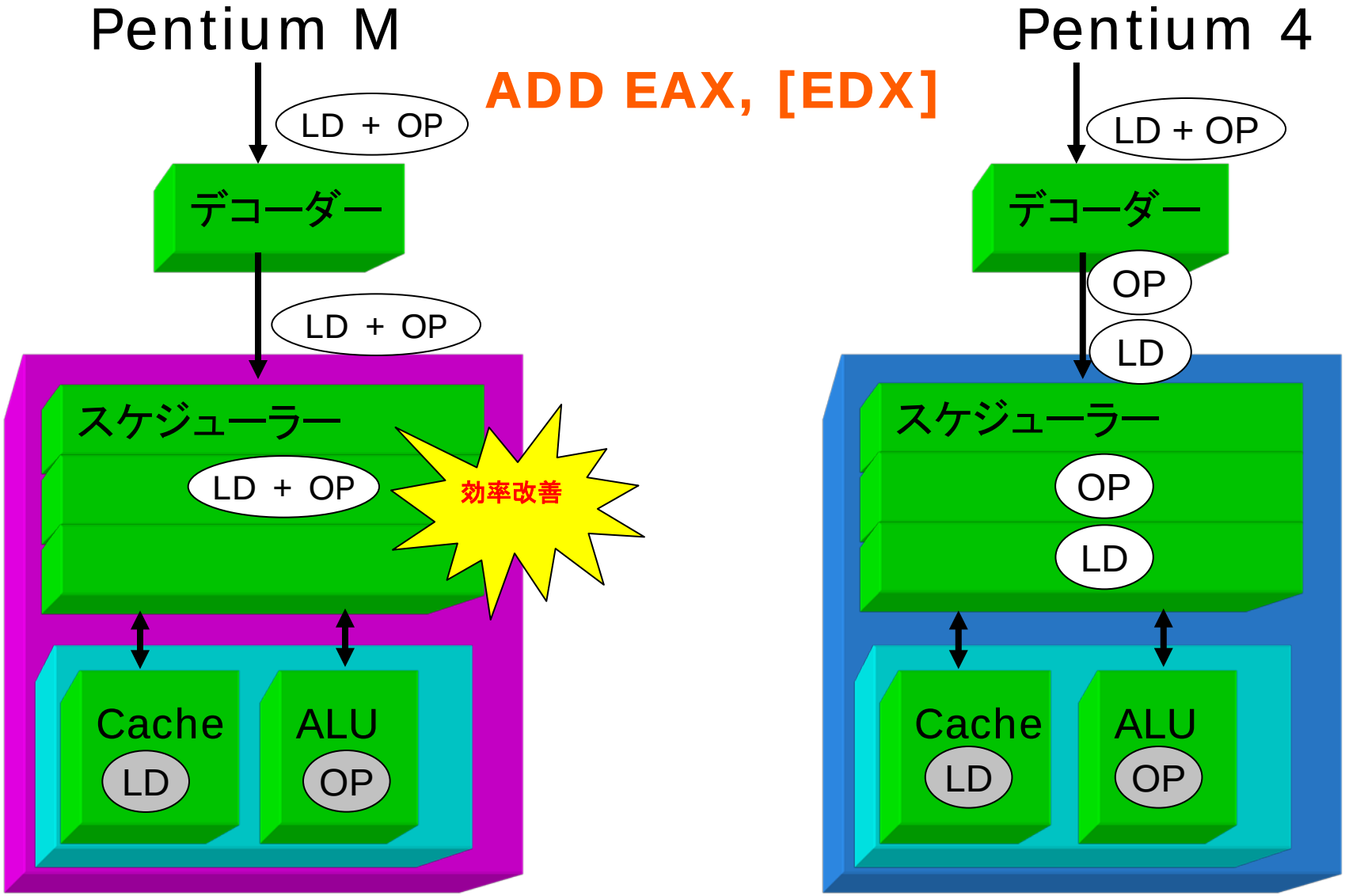
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® モバイル・マイクロアーキテクチャー



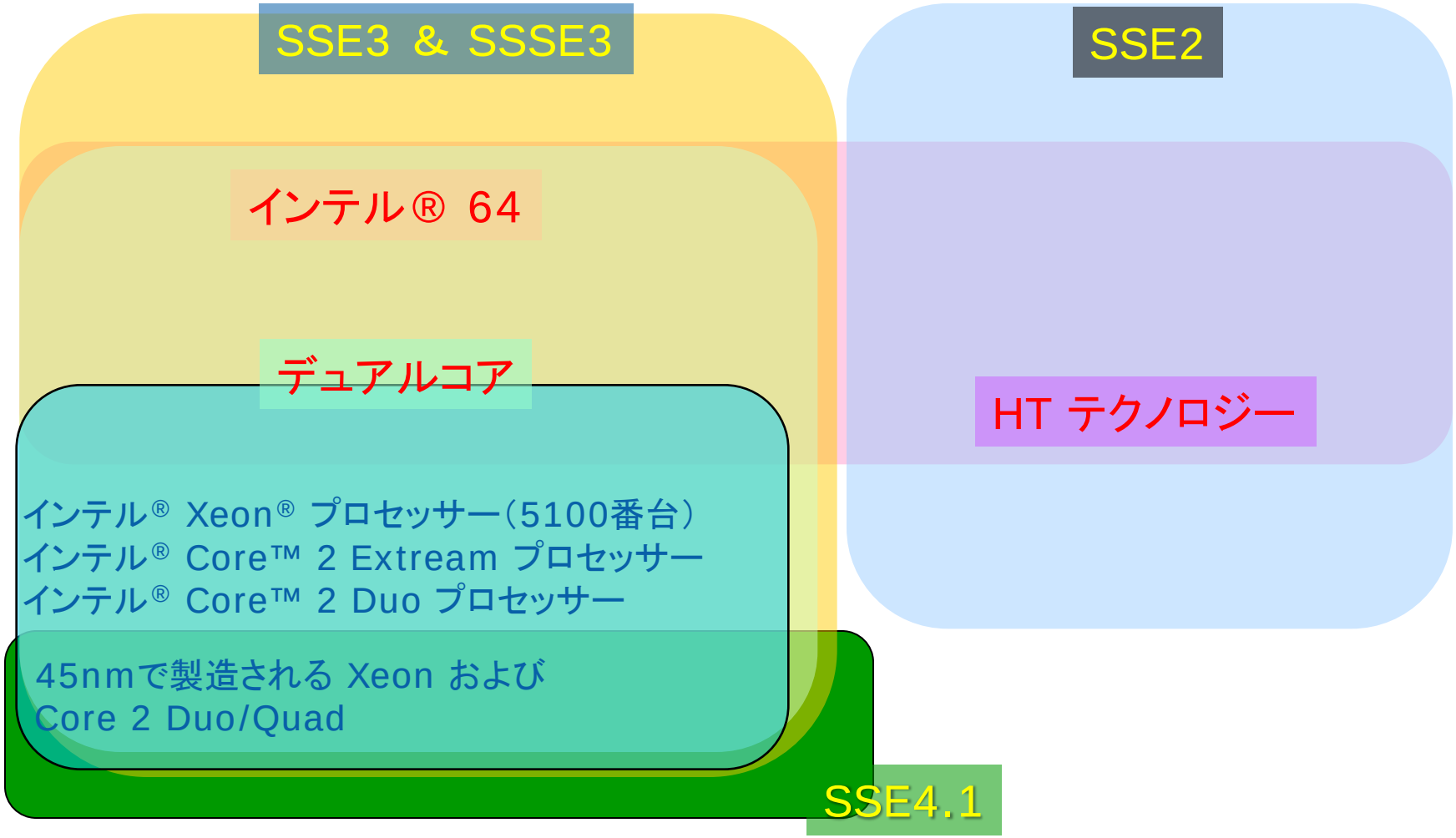
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

マクロフュージョン



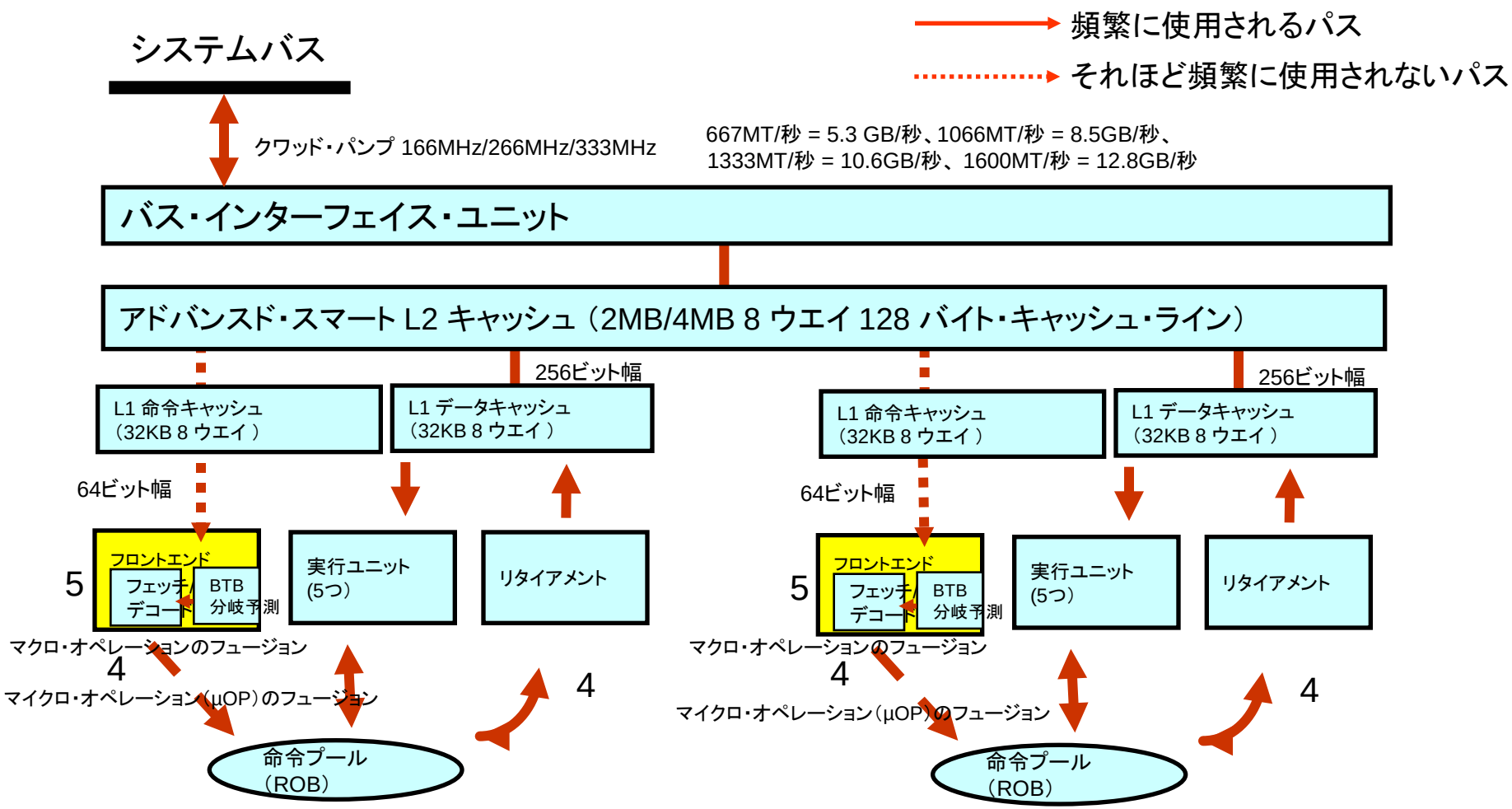
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® Core™ プロセッサー・ファミリー



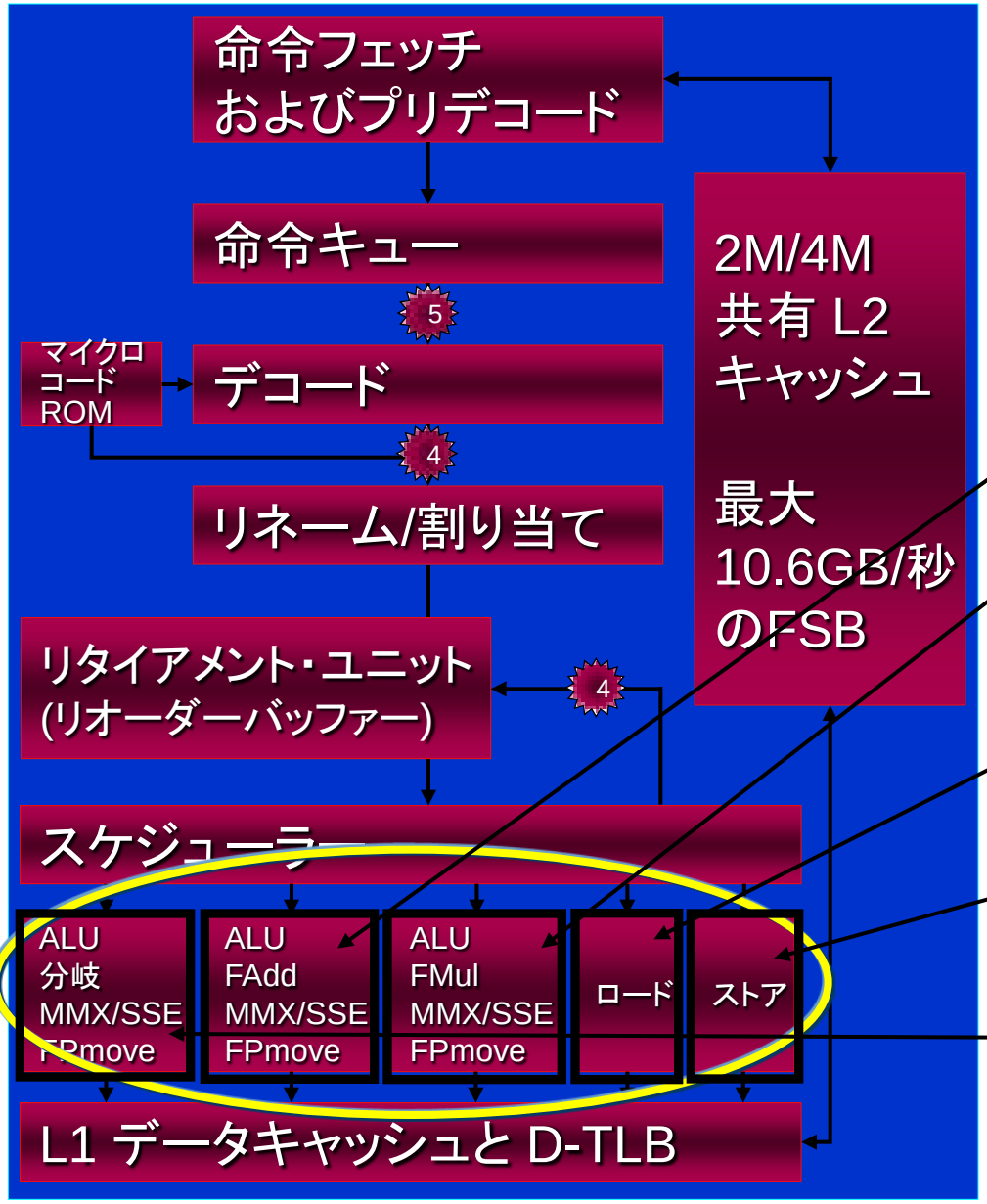
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® Core™ マイクロアーキテクチャー



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

アドバンスト・デジタル・メディア・ブースト



128 ビット・パックド Add

+

128 ビット・パックド Multiply

+

128 ビット・パックド Load

+

128 ビット・パックド Store

+

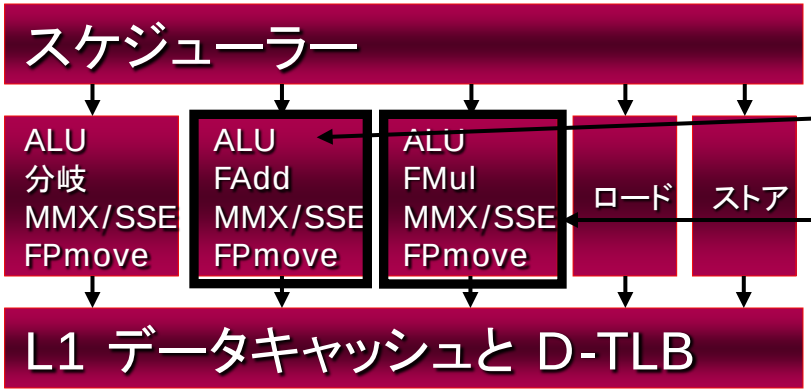
(CMPJCC)

1 クロック当たり 2 倍の演算スループット

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

（乗算＋加算）/ サイクル

SIMD	パックド 単精度浮動小数点	パックド 倍精度浮動小数点	パックド 整数
Yonah	2 Mul + 2 Add	1 Mul+1Add	4 Mul+ 4Add
Merom	4 Mul + 4 Add	2 Mul+ 2 Add	8 Mul+ 8 Add



128 ビット・パックド Add

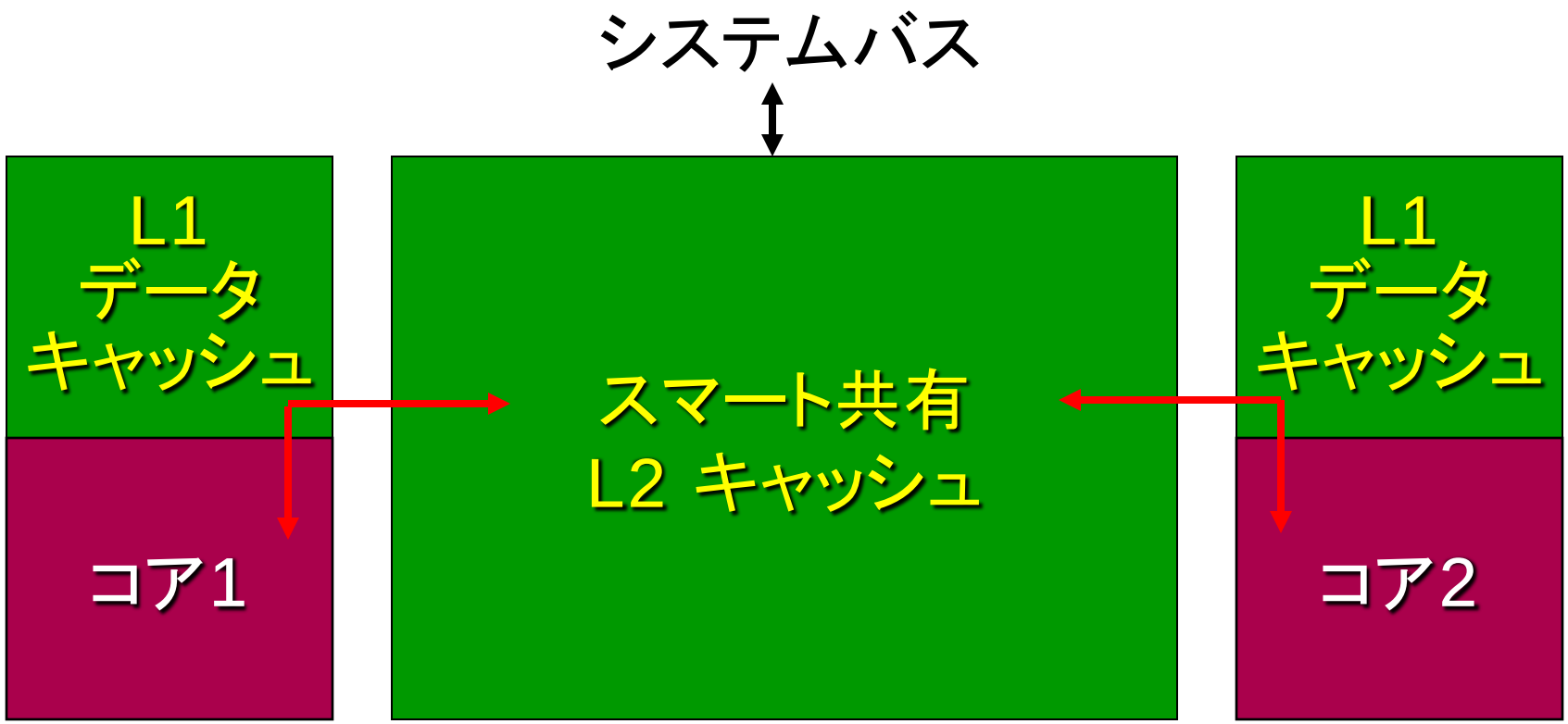
＋

128 ビット・パックド Multiply

1 クロックあたり 2 倍の演算スループット

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

スマート・メモリー・アクセス – 目標



時間の局所性　データを可能な限り早く利用できるようにする
空間の局所性　データが可能な限り近くにあるようにする

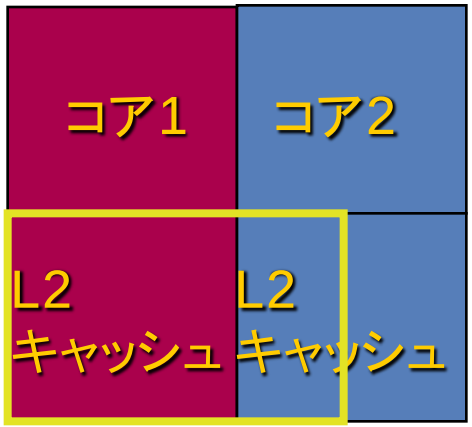
メモリー・サブシステムのレイテンシーを隠蔽

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

アドバンスト・スマート・キャッシュ
ダイナミック・キャッシュ・アロケーション

アドバンスト・スマート・キャッシュ

独立キャッシュ

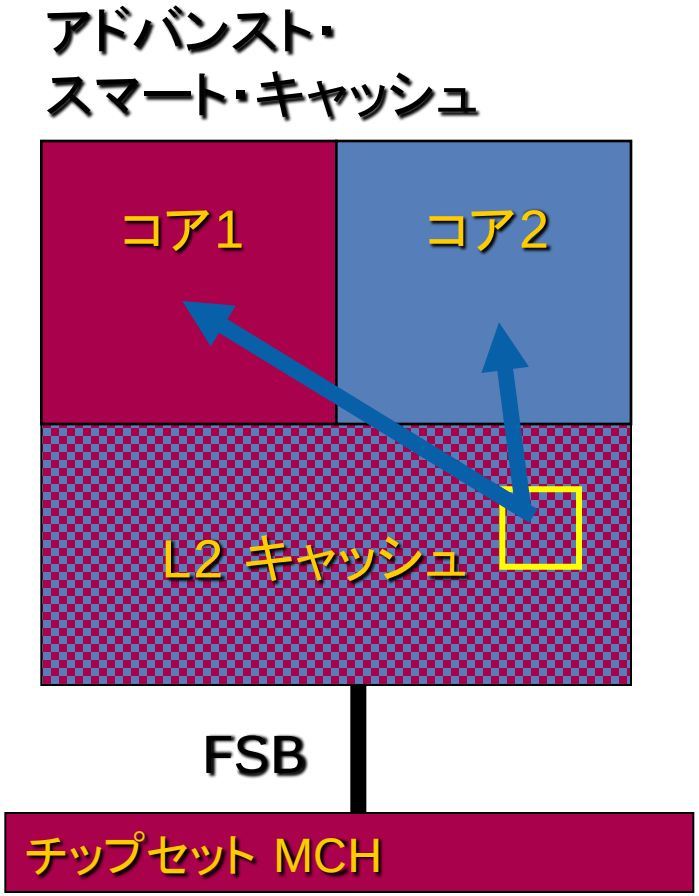


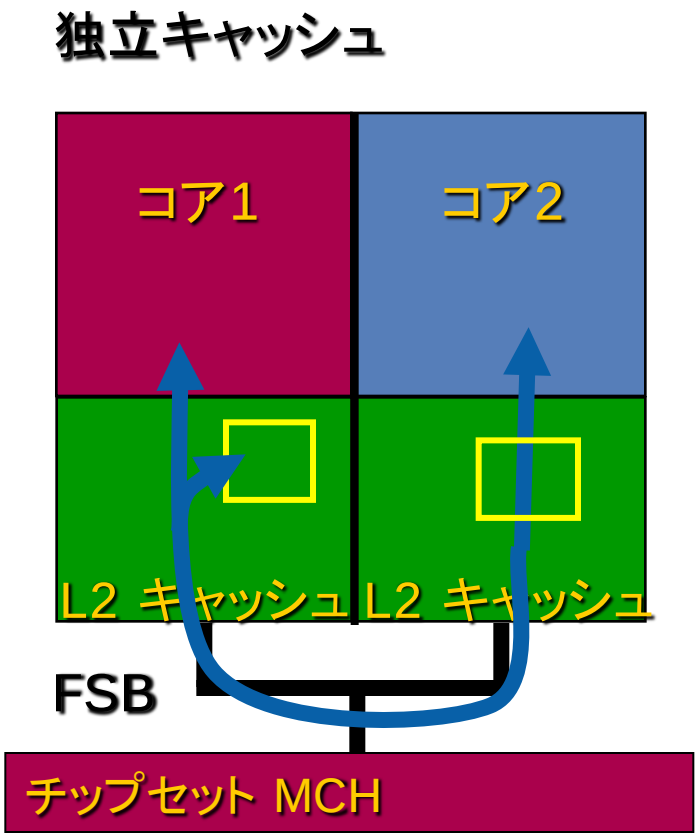
共有キャッシュは2つのコアからの不均衡な負荷に適応。しかし独立キャッシュは、一方のキャッシュの使用率が低く、キャッシュが空いていても、もう一方の高負荷のアプリケーションはその空きキャッシュを利用できずパフォーマンス向上が見込めない。

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

アドバンスト・スマート・キャッシュ

効率よいデータ共有





L2 から L1 への 2 倍の帯域幅

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

マクロフュージョン

一般的な x86 命令のペアを単一のマイクロオペレーションで発行

- CMP または TEST + 条件分岐 (Jcc)

マクロフュージョン用の拡張版 ALU (Arithmetic Logic Unit)

- 1 回のディスパッチ – 効率
- 1 サイクルでの実行 – パフォーマンス

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

マクロフュージョンがない場合

命令キュー

inc ecx

store [mem3], ebx

jne targ

cmp eax, [mem2]

load eax, [mem1]

dec0 dec1 dec2 dec3

inc ecx

store [mem3], ebx

jne targ

cmp eax, [mem2]

load eax, [mem1]

サイクル 1

サイクル 2

命令キューから 4 つの命令を読み取る

各命令が別々の μOP にデコードされる

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

マクロフュージョンを使用した場合

命令キュー

inc ecx

store [mem3], ebx

jne targ

cmp eax, [mem2]

load eax, [mem1]

dec0 dec1 dec2 dec3

サイクル 1

inc ecx

store [mem3], ebx

cmpjne eax, [mem2], targ

load eax, [mem1]

命令キューから 5 つの命令を読み取る

結合可能な命令ペアを 1 つのデコーダーに送り込む

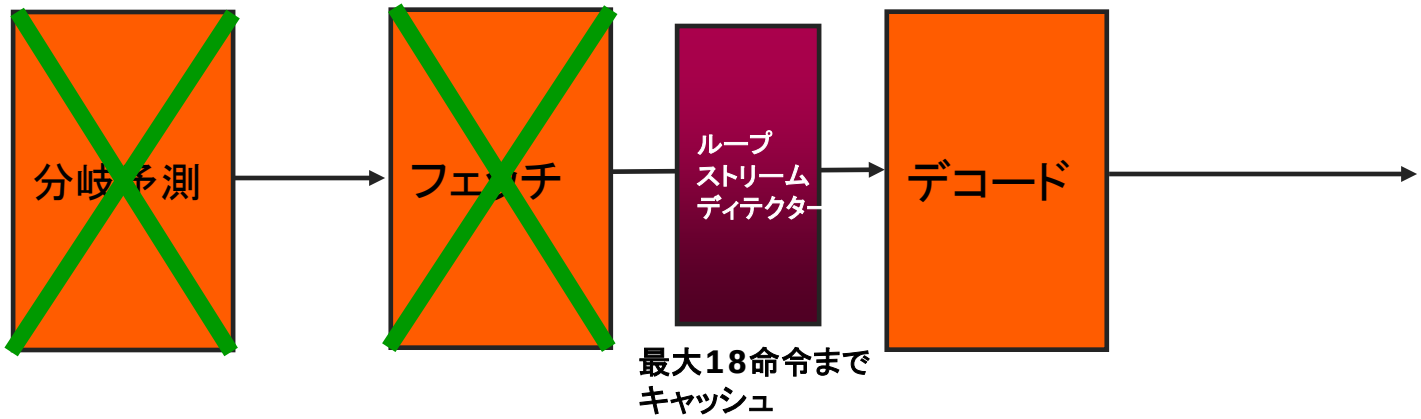
1 つの μOP で 2 つの命令を結合

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

ループ・ストリーム・ディテクター

- ソフトウェアの大部分はループを利用
- ハードウェアで「ループ処理」を認識
  - 同じ命令を繰り返しデコード（解読）
  - 条件に達するまで何度も同じ分岐予測を行なう
- 「ループ・ストリーム・ディテクター」はソフトウェアループを特定
  - 通常パスではなく「ループ・ストリーム・ディテクター」からループを構成する命令ストリームを読み込む
  - **消費電力削減**のため不必要なロジック回路ブロックを停止
  - 命令フェッチの制限を受けないことで**高いパフォーマンス**を実現

インテル® Core™ マイクロアーキテクチャー



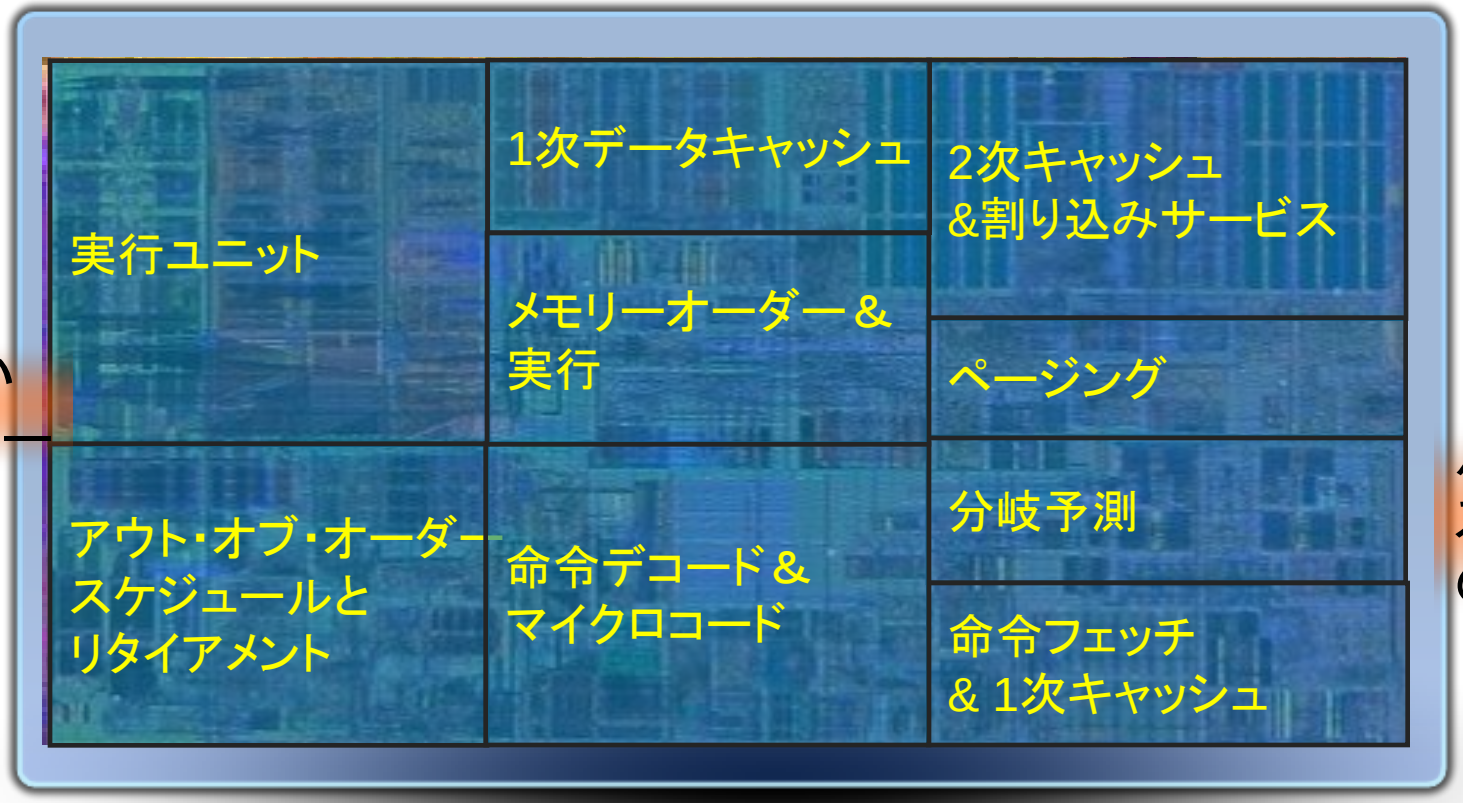
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

Nehalem*の設計理念

新しいSSE4.2命令

ロック機能の改善

新たなキャッシュ階層



より深い
バッファ

ループ
ストリーム
の改善

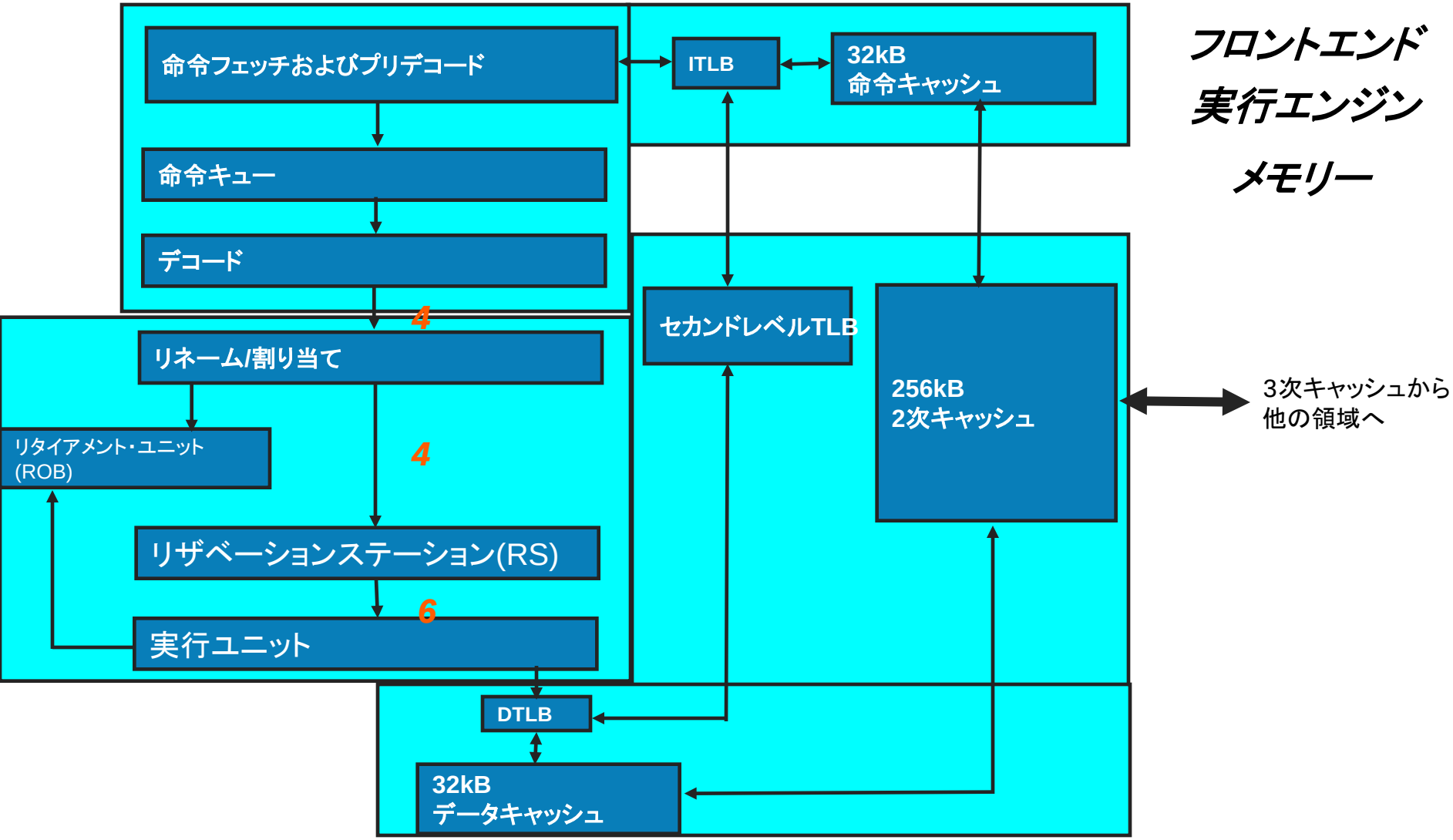
インテル® ハイパー・
スレッディング・テクノロジー

仮想化の高速

より優れた分岐予測

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

強化されたプロセッサーコア

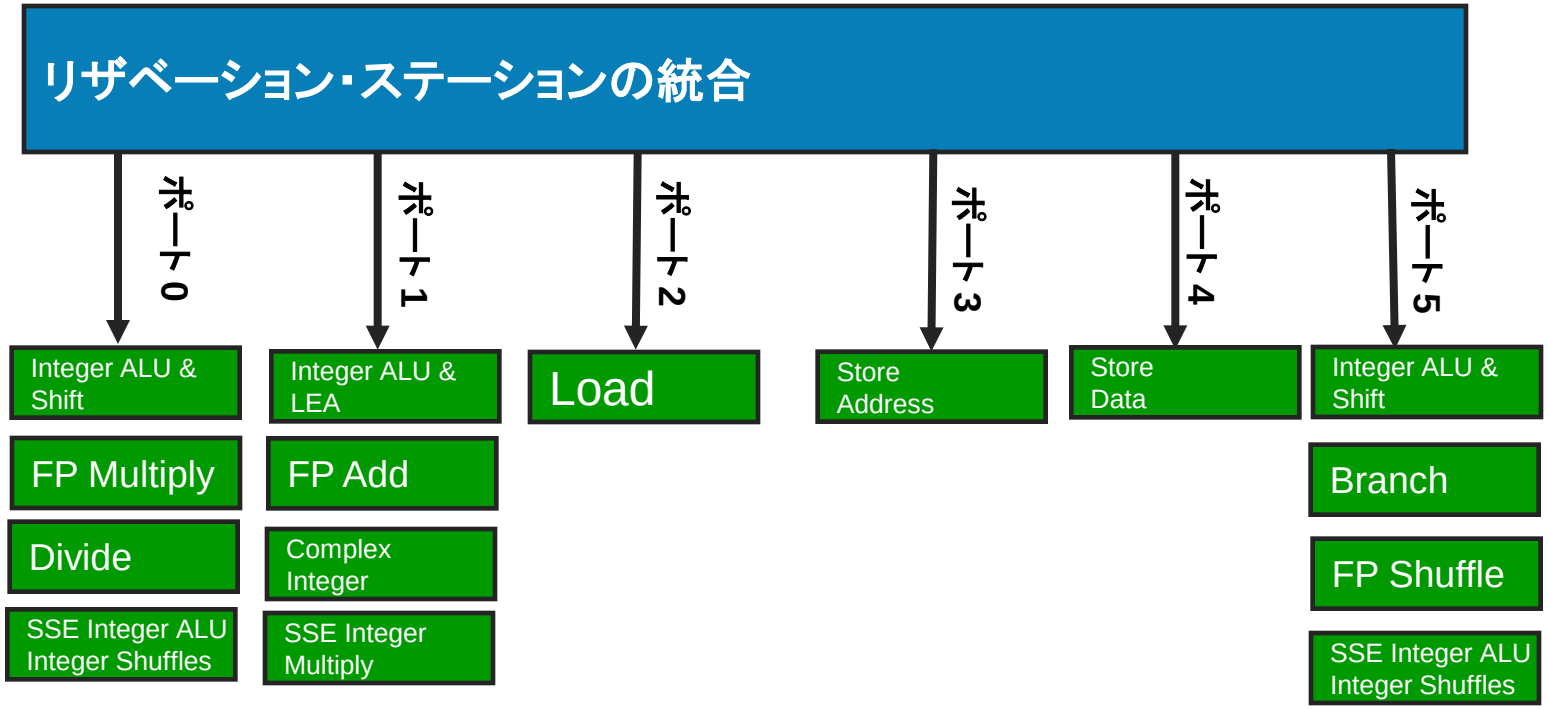


© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

実行ユニットの概要

リザベーション・ステーションの統合
- 実行ユニットに対して命令をスケジューリング
- すべての実行ユニットに対して単一のスケジューラー
- すべての整数、すべての浮動小数点により用いられることがある

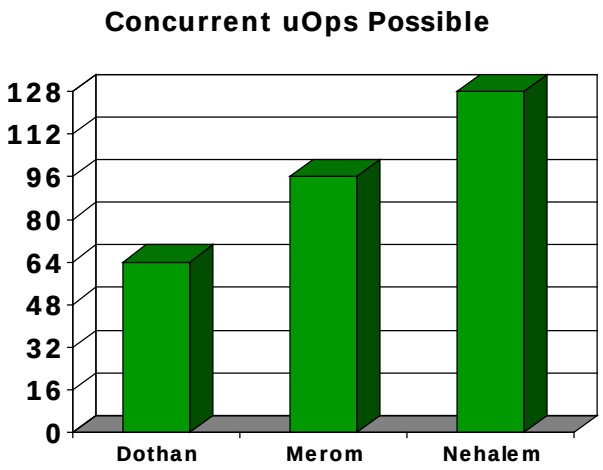
6 命令/サイクルを実行
- 3 メモリー　オペレーション
  - 1 ロード
  - 1 ストア アドレス
  - 1 ストア　データ
- 3つのALU（演算装置）機能



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

（命令）並列性の向上

- 目標：実行エンジンの高性能化
- Nehalem＊：アウト・オブ・オーダー時の実行枠を33％拡張
- 並列実行できるuOPs(CPUの内部命令)の組み合わせも増加



機能	Merom	Nehalem	注釈
リザベーション・ステーション	32	36	実行ユニットに対して命令をディスパッチ
ロード バッファー	32	48	アロケートされたすべてのロード命令をトラック
ストア バッファー	20	32	割当てられたすべてのストアー命令をトラック

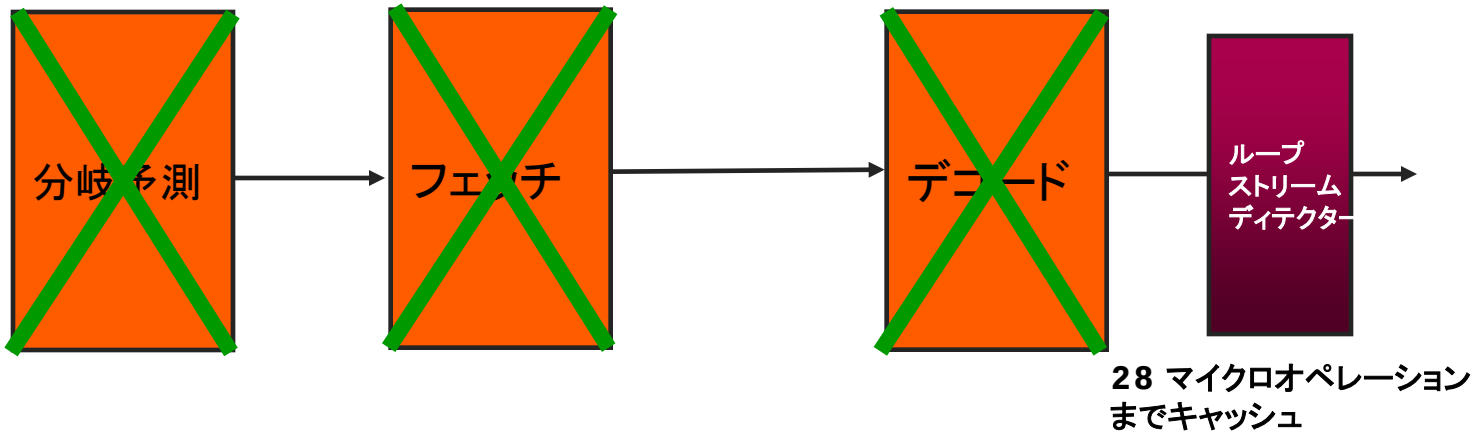
リソース増加で高いパフォーマンスを実現

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

Nehalem* ループ・ストリーム・ディテクター

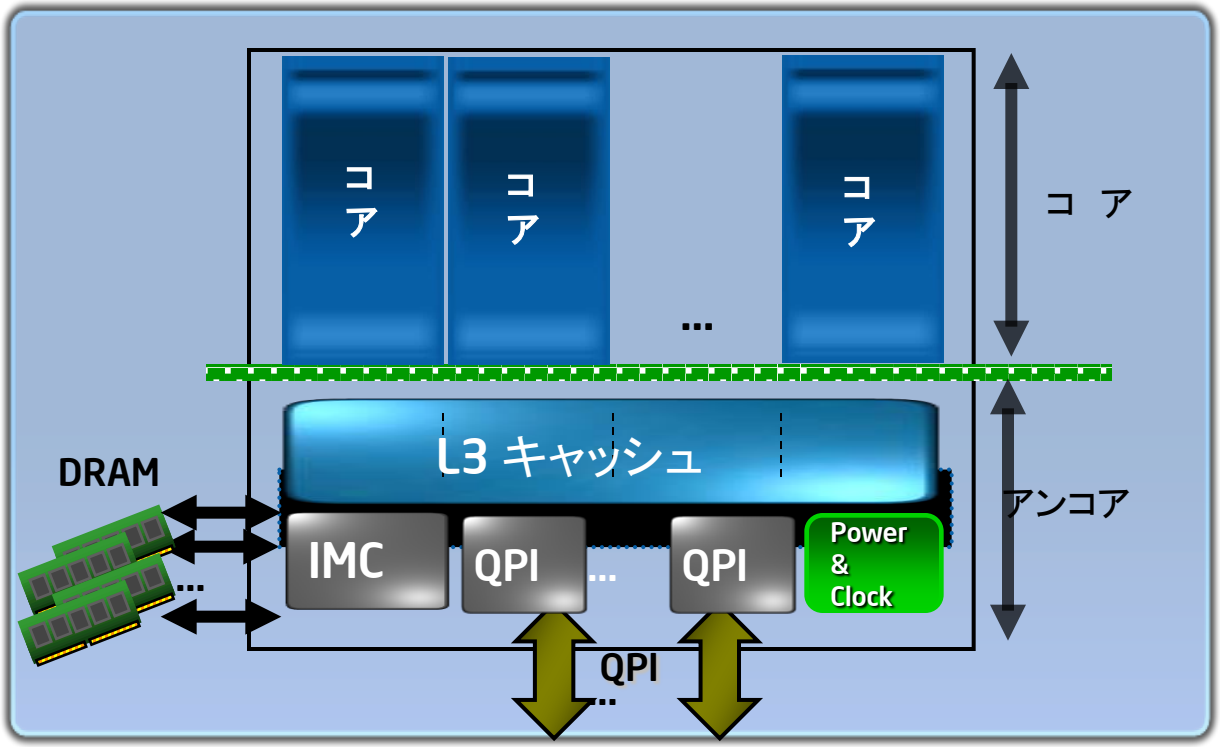
- 従来の実装と同じコンセプト
- **性能面の向上:探知できるループの規模を拡大**
- **優れた電力効率:**より多くのロジック回路を停止

Nehalem* マイクロアーキテクチャー



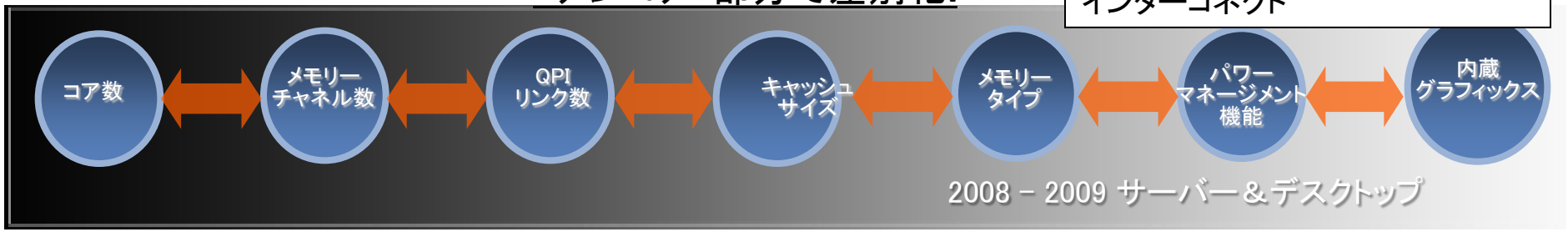
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

モジュール化された設計



QPI: インテル® QuickPath インターコネクト

“アンコア”部分で差別化:



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

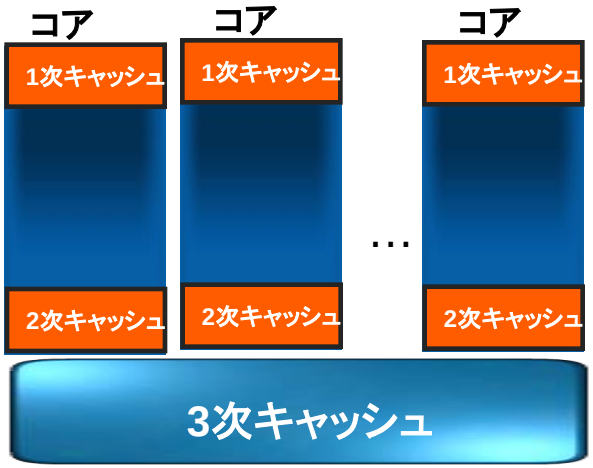
インテル・スマート・キャッシュ - コア・キャッシュ

- 3段階に分かれたキャッシュ階層
- 1次キャッシュ (L1)
  - 32kB命令キャッシュ
  - 32kBデータキャッシュ
    - Core2よりも1次キャッシュミスを最適化
- 2次キャッシュ (L2)
  - 新たにNehalem* から導入
  - 統合キャッシュ（コードとデータ）
  - コアごとに256kBが割り当て
  - **性能面**: 待ち時間（=レイテンシー）を短く
  - **拡張性**: コア数が増えても、共有キャッシュへの負担を減らす（= アクセス数を軽減）

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル・スマート・キャッシュ – 3次キャッシュ

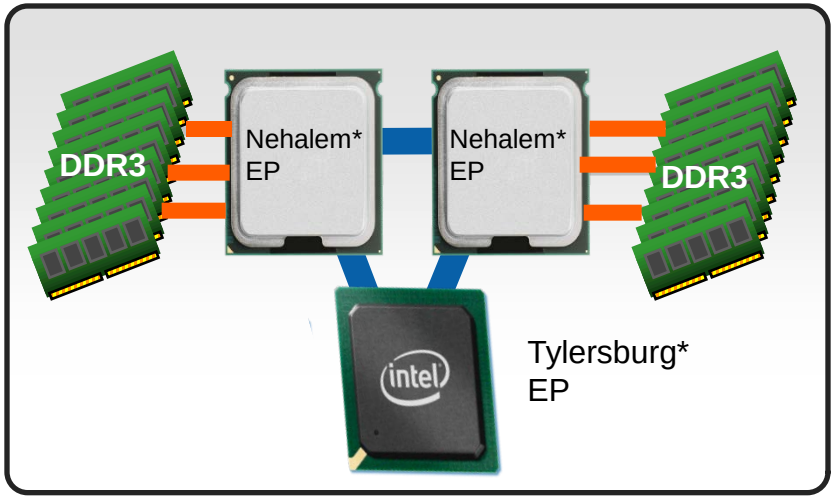
- 3次キャッシュを新たに搭載 (L3)
- すべてのコアで共有
- 容量はCPUコア数によって増減
  - クアッドコア: 最大8MB
  - **拡張性:**
    - さまざまな製品バリエーションに対応
    - 将来における拡張性
- **性能向上のためインクルーシブ・キャッシュ方式を採用**
  - L1/L2内に存在するアドレスは3次キャッシュ内にも存在する



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

内蔵メモリーコントローラー
Integrated Memory Controller (IMC)

- メモリーコントローラーを内蔵する事でCPUごとにメモリーを最適化
- Nehalem* 最初の世代では
  - DDR3メモリーをサポート
  - ソケットあたり3チャンネルメモリーをサポート
  - 最高DDR3-1333までサポート
    - **メモリー帯域幅の増大**
  - **待ち時間（=レイテンシー）を短く**する設計
  - RDIMMとUDIMMをサポート
  - RAS機能の強化
- 将来において
  - **拡張性**
    - メモリーチャネル数
    - メモリースピードの強化
    - バッファー、アンバッファーを提供
  - 市場特有のニーズに対応
    - 大容量メモリー
    - グラフィックス内蔵



メモリーコントローラーを内蔵したことで大幅に性能向上

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

パフォーマンスとエネルギー効率の強化

SSE4.2インストラクション・セット・アーキテクチャー(ISA)

ストリングとテキスト処理の高速化

Faster XML parsing
Faster search and pattern matching
Novel parallel data matching and comparison operations

STTNI

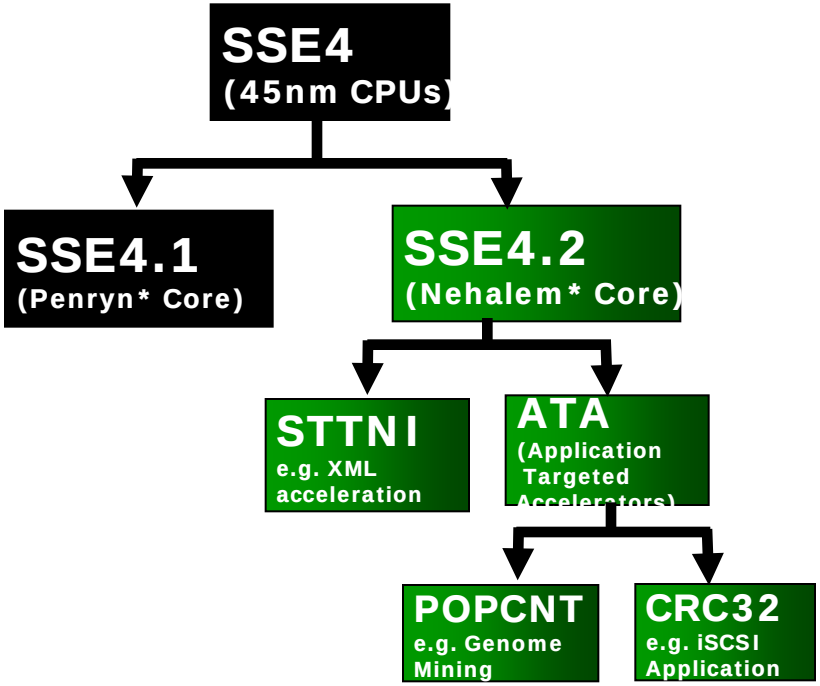
データマッチ処理の高速化

Improved performance for Genome Mining,
Handwriting recognition.
Fast Hamming distance / Population count

新しい命令フォーマット

Hardware based CRC instruction
Accelerated Network attached storage
Improved power efficiency for Software I-SCSI, RDMA, and SCTP

ATA



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

Sandy Bridge: 概要

CPU, グラフィックス, MC, PCI Express* を1つのチップに統合

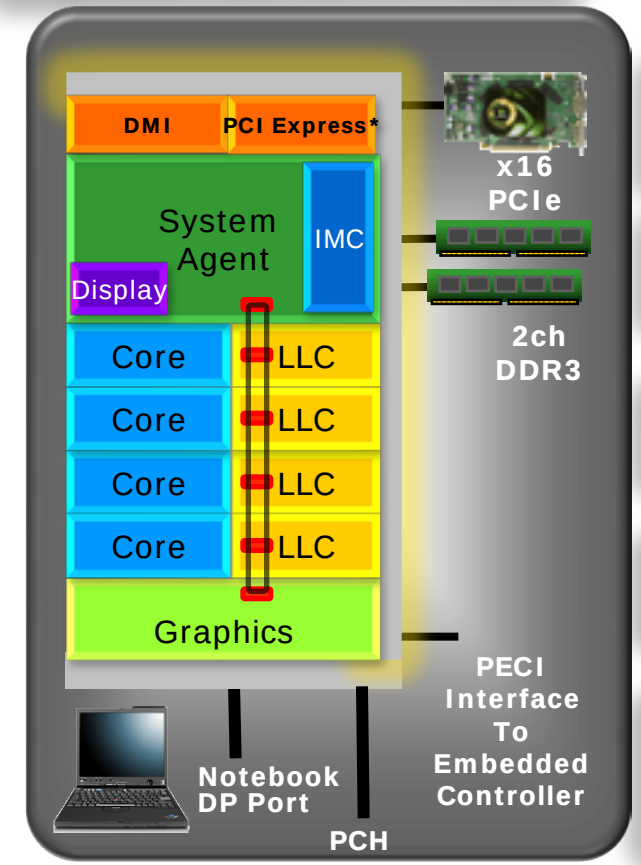
インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0

バンド幅の広い ラストレベル・キャッシュ

インテル® HD グラフィックス

ディスプレイ・ポートを組み込み

ディスクリート・グラフィックスをサポート: 1x16 もしくは 2x8



広バンド幅 / 低レイテンシーの モジューラーコア / GFX 内部接続

パフォーマンス向上を実現

インテル® アドバンスト・ベクター拡張（インテル® AVX）

メモリーコントローラーを統合 2 チャンネルの DDR3

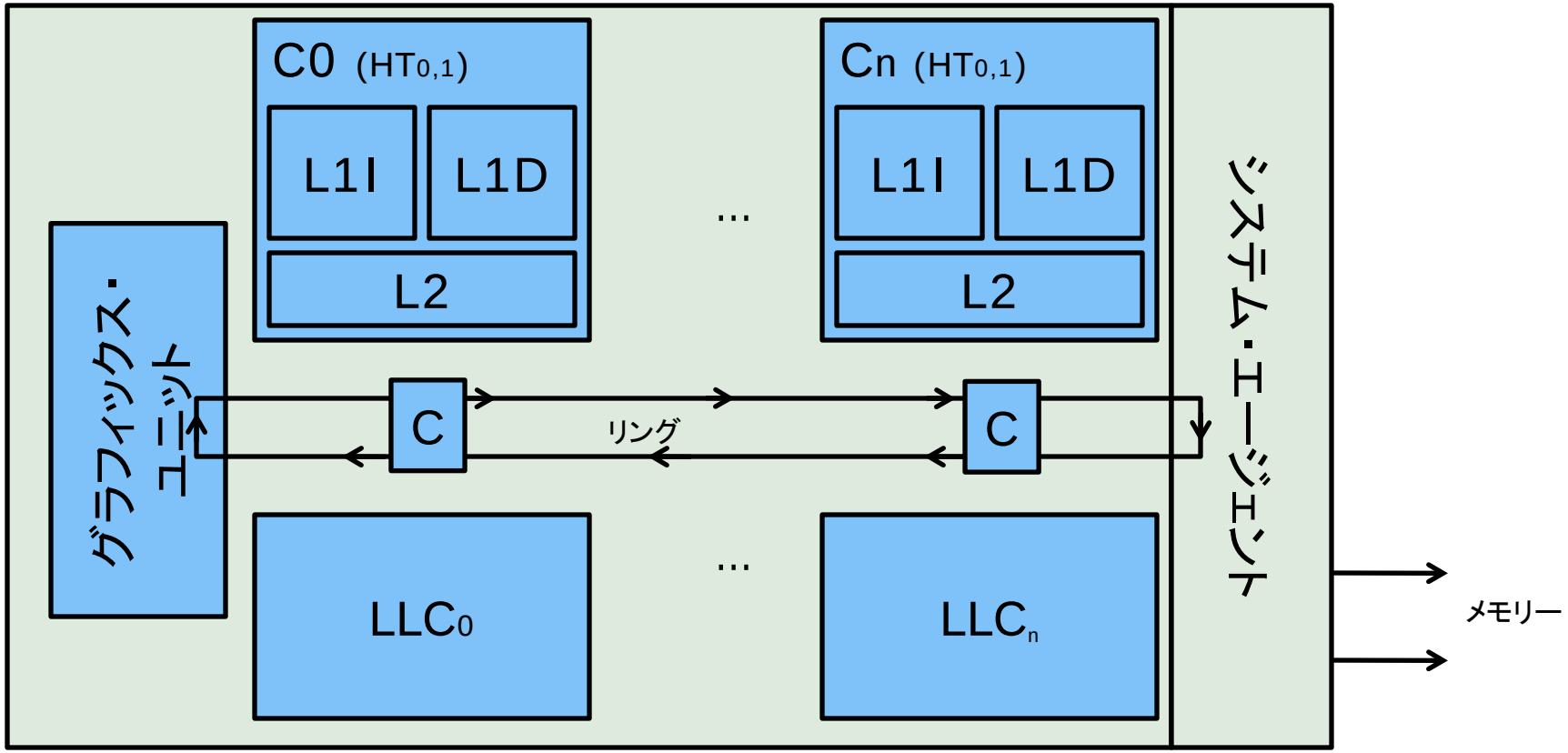
インテル® ハイパー・スレッディング・テクノロジー 4 コア / 8 スレッド 2 コア / 4 スレッド

優れたエネルギー効率

驚くほどのパフォーマンス

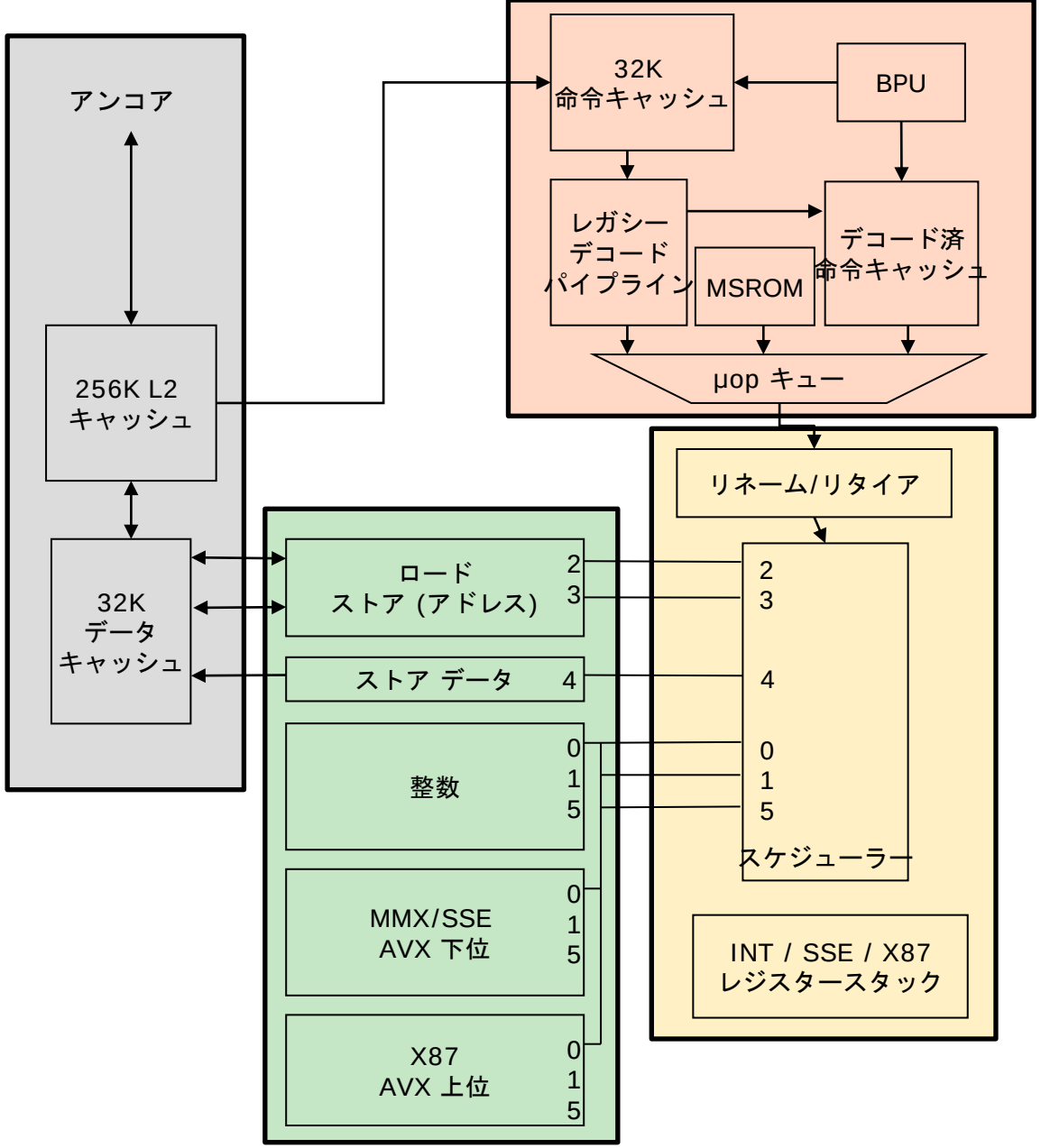
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

マイクロアーキテクチャー概要



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

コア・パイプライン



フロントエンド

OOO*

実行

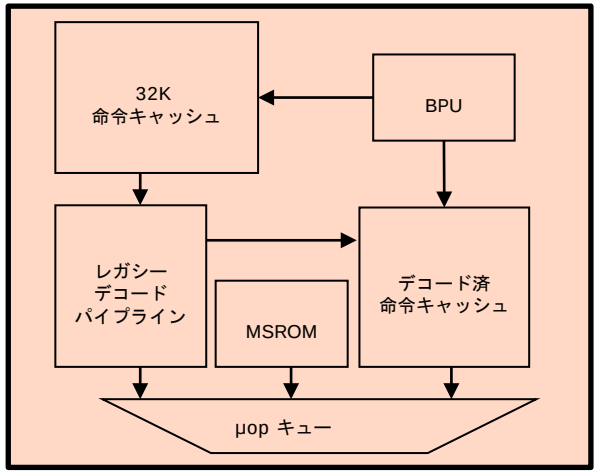
キャッシュ

OOO = out of order

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

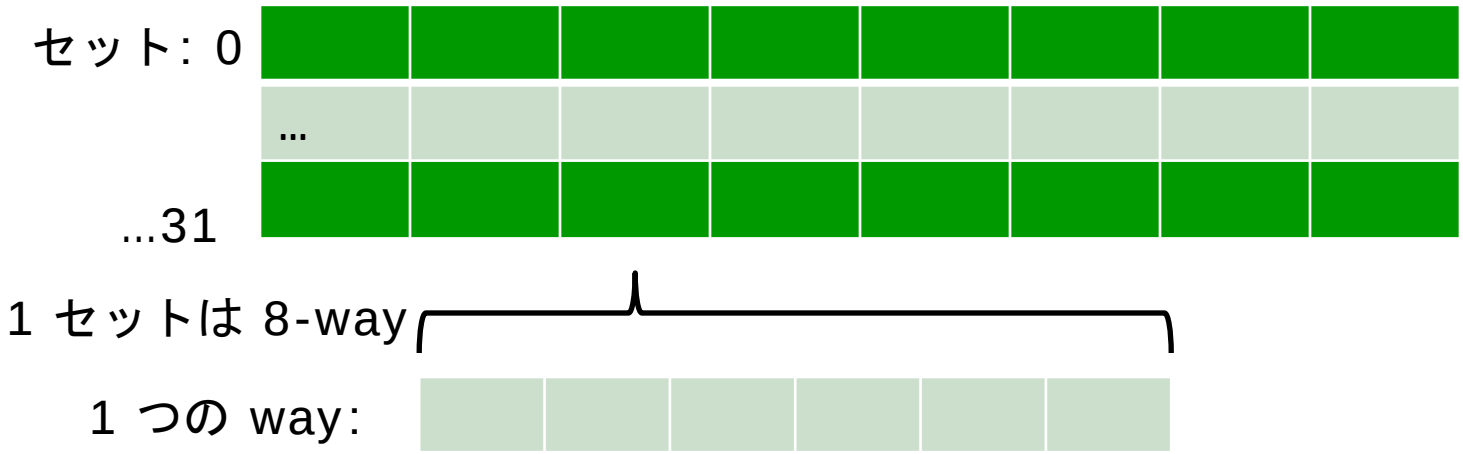
フロントエンド

- レガシー・パイプライン: 命令フェッチと µops へのデコード
  - デコード済命令キャッシュに格納
- デコード済命令キャッシュ: 利用頻度の高い µops のキャッシュ
- MSROM – 4 µops より長い命令を格納
- µops はデコード済命令キャッシュもしくはデコーダーからフェッチされ µop キューへ格納される
  - LSD: 小さな µops のループはキューから取り込む
    - µops がデコード済み命令キャッシュから提供された場合のみ
- マイクロフュージョン
  - ロード/ストア + op を 1 の µop に融合
- マクロフュージョン
  - 2 の連続した命令 → 1 µop
    CMP/TEST/ADD/SUB/INC/DEC + JCC



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

デコード済み命令キャッシュの内容



1 つの way は次の内容を保持できる:

- 6 µops – 完全な命令
- 2 の分岐
- 1 非条件分岐
- 1 MSROMは 1 way を消費
- 長い即値を伴う µops は 2-way 消費

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

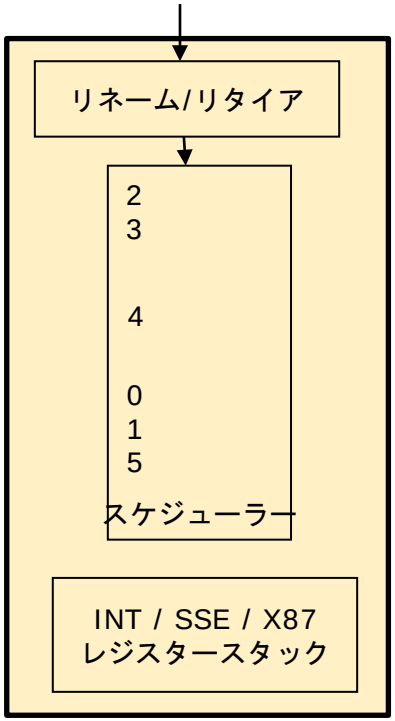
デコード済み命令キャッシュ

- 32 セット、8-way、1-way は 6 のエントリー
- すべての命令は 32 バイト境界に配置されたチャンク
- 最大 3 の way を消費
  - 32 バイトに配置されたチャンクは最大 18 の µops を保持
- 複数の µops で構成される命令は way にまたがって格納できない
- way 中に 2 の分岐を格納可能
- 非条件分岐は way の最後の µop
- 長い命令（MSROM）は way 全体を消費
- マイクロフュージョンされた µops（ロード/ストア +op）は、1 に扱う
- マクロフュージョンされた対の命令は、1 の µop として扱う
- 64 バイト即値を伴う µops は、即値を保持するため 2 のスロットを利用
- SMT の場合: 各スレッドは半分のセットを利用

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OOO - リネーム

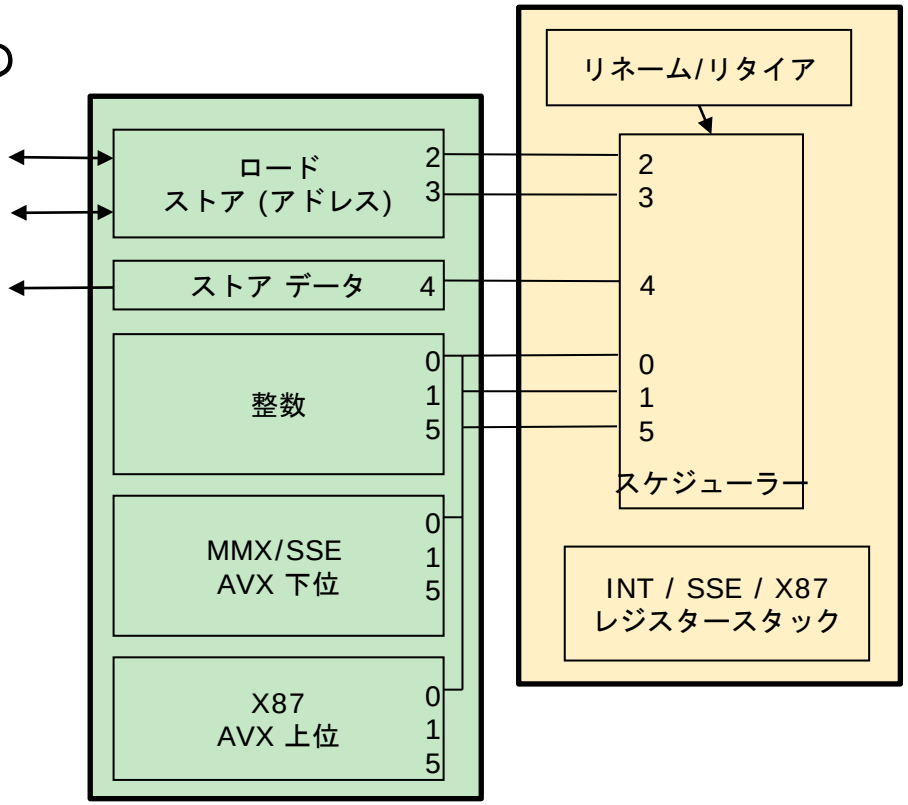
- µops はバックエンドでインオーダーにリソースを割り当てられる
  - ROB、RS、ロードバッファー、ストアバッファー
- 各サイクルで最大 4 µops を割り当て
  - 集成されていない µops（base + index を伴うストア/ロード+op）は 2 の割り当て/リタイアスロットを利用
  - マイクロフュージョンされた µop は、1 の割り当て/リタイアスロットを利用するが、2 の RS および ROB エントリーを利用
- LSD ループのサイクル割り当てを終わらせて分岐
- 割り当て時の実行: ゼロ・イディオム、NOP、VZEROUPPER、FXCHG



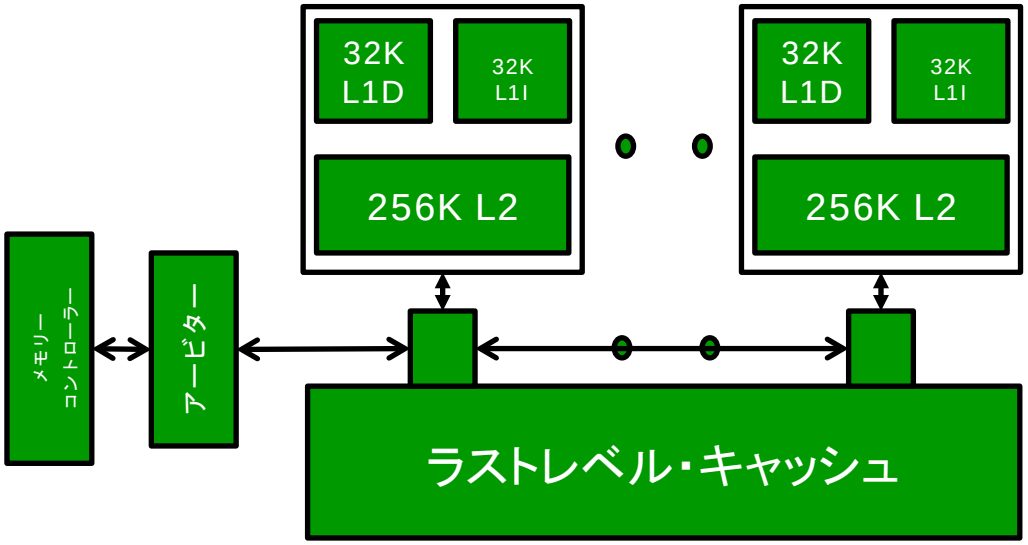
© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OOO と実行

- µops は RS から OOO 実行のためディスパッチされる
  - サイクルごとに各ポートで 1 µop
  - ポート 0、1、5 – 演算
  - ポート 2、3 – ロードとストアアドレス
  - ポート 4 – ストアデータ
- レジスターは 3 スタックを保持
  - 整数、SSE/SIMD (INT + FP)、x87
  - インテル® AVX 下位と SSE、インテル AVX 上位と x87
- 実行が完了するとデータはスタックへ書き戻される
  - ポートごとに 1 の µop がライトバックできる
  - 異なるレイテンシーの µops は、同じスタック上のライトバック・ポートを共有できない
    - 異なるスタックであれば µops は衝突しない



© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。



キャッシュ構造

データ位置	最適なレイテンシー（サイクル）	最適なバンド幅（コアごとのサイクル）
L1 データキャッシュ	4 *	2 x 16 バイト
L2 キャッシュ	12	1 x 32バイト
LLC	26-31	1 x 32バイト
利用可能な他のコアの L2 と L1 データキャッシュ	43 – クリーンヒット 60 – ダーティーヒット	

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 *その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル® アドバンスト・ベクトル・エクステンション（インテル® AVX）

- 32 バイト浮動小数点ベクトル拡張
  - 8 個の 4 バイト（単精度）浮動小数点要素を操作
  - 4 個の 8 バイト（倍精度） 浮動小数点要素を操作
  - 新しい 16 個の 32 バイト YMM レジスター（XMM レジスターの拡張）
- 16 バイトの浮動小数点および整数ベクトル拡張
- 非破壊ソース – NDS
  - SRC2 と DEST は異なる
- 「ロード + op」 はアライメントされていないアドレスをアクセスできる
  - コードサイズを縮小
  - 少ない µops （マイクロオペレーション）
- インテル® AVX における 16 ←→ 32 バイトの移行はコストなし
  - 32 バイトのインテル® AVX ←→ インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令（インテル® SSE）間の移行は高価

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

まとめ

プロセッサーのマイクロアーキテクチャーを知ることで、ソフトウェアをさらに高速に動作させることが可能になる

プロセッサーのマイクロアーキテクチャーは、ほぼ 2 年に 1 度改良される

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

最適化に関する注意事項

インテル® コンパイラー、関連ライブラリーおよび関連開発ツールには、インテル製マイクロプロセッサーおよび互換マイクロプロセッサーで利用可能な命令セット（ SIMD 命令セットなど）向けの最適化オプションが含まれているか、あるいはオプションを利用している可能性がありますが、両者では結果が異なります。また、インテル® コンパイラー用の特定のコンパイラー・オプション（ インテル® マイクロアーキテクチャーに非固有のオプションを含む）は、インテル製マイクロプロセッサー向けに予約されています。これらのコンパイラー・オプションと関連する命令セットおよび特定のマイクロプロセッサーの詳細は、『インテル® コンパイラー・ユーザー・リファレンス・ガイド』の「コンパイラー・オプション」を参照してください。インテル® コンパイラー製品のライブラリー・ルーチンの多くは、互換マイクロプロセッサーよりもインテル製マイクロプロセッサーでより高度に最適化されます。インテル® コンパイラー製品のライブラリー・ルーチンの多くは、互換マイクロプロセッサーよりもインテル製マイクロプロセッサーでより高度に最適化されます。インテル® コンパイラー製品のコンパイラーとライブラリーは、選択されたオプション、コード、およびその他の要因に基づいてインテル製マイクロプロセッサーおよび互換マイクロプロセッサー向けに最適化されますが、インテル製マイクロプロセッサーにおいてより優れたパフォーマンスが得られる傾向にあります。

インテル® コンパイラー、関連ライブラリーおよび関連開発ツールは、互換マイクロプロセッサー向けには、インテル製マイクロプロセッサー向けと同等レベルの最適化が行われない可能性があります。これには、インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令 2（ インテル® SSE2）、インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令 3（ インテル® SSE3）、ストリーミング SIMD 拡張命令 3 補足命令 (SSSE3) 命令セットに関連する最適化およびその他の最適化が含まれます。

インテルでは、インテル製ではないマイクロプロセッサーに対して、最適化の提供、機能、効果を保証していません。本製品のマイクロプロセッサー固有の最適化は、インテル製マイクロプロセッサーでの使用を目的としています。インテルでは、インテル® コンパイラーおよびライブラリーがインテル製マイクロプロセッサーおよび互換マイクロプロセッサーにおいて、優れたパフォーマンスを引き出すのに役立つ選択肢であると信じておりますが、お客様の要件に最適なコンパイラーを選択いただくよう、他のコンパイラーの評価を行うことを推奨しています。インテルでは、あらゆるコンパイラーやライブラリーで優れたパフォーマンスが引き出され、お客様のビジネスの成功のお役に立ちたいと願っております。お気づきの点がございましたら、お知らせください。

改訂 #20110307

© 2011 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。 記載内容は予告なしに変更されることがあります。 ＊その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。